

宮崎大学医学部整形外科

同門会誌

第 25 号
平成 26 年 6 月

宮崎大学医学部整形外科学教室同門会



平成25年度 宮崎大学医学部 整形外科学教室 新入教室員歓迎会 平成25年4月13日 於 宮崎観光ホテル



木村千仞先生 米寿祝賀会 平成25年12月7日 於 宮崎観光ホテル



ご挨拶

河野雅行

昨年は田辺龍樹先生が御逝去されました。今後の御活躍を期待しておりましたが、まことに残念でございます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

1 昨年の衆議院、昨年の参議院国政選挙におきまして自民・公明与党の安定政権が発足しました。これは過去数年間の幼稚政治からの脱却を国民が望んだ結果であると思います。その後、アベノミクスとやらの影響で景気が上向いているようですが、庶民の感覚としては、実感に乏しく、不確かな浮揚感のみしか感じられません。医療界でも安倍政権に対して期待感も持たれていますが、昨今の医療政策を見ておきますと、未だ評価の一定しないのが現状です。一つだけ言えるのは、誰が政権を担っても財政的には厳しい状態ですので、それ相応の対応しか為されないのではないかと危惧されております。その他の社会情勢・外交は TPP を含めてむしろ緊迫した状況が続いています。4月からは追い打ちをかける様に消費税も上がります。更には我々にとりまして最も大きな問題であります診療報酬の改定が行われました。改定の趣旨は医療機関の見直しと在宅医療の強化とそれに付随した介護との融和です。整形外科にとって重要な部分を占めております簡単処置の包括化やりハビリテーションの医療から介護へと引き剥がしが確実に進行している様です。

其の他にも医療情勢を巡りましては、昨年来

問題になっております中小病院・有床診療所の防火・防災対策と医療安全問題を始めとして、以前からの懸案事項である諸問題、混合診療の拡大、特区に於ける株式会社の参入、医学部の新設、薬局に於けるゲートキーパー化、インターネットによる薬物販売等々、更に整形外科分野では相変わらず医療類似行為等の問題が山積しております。これ等の問題につきましても、様々な専門家が其々に自説を述べられていますが、諸悪の根源は医療を財政主義にリンクさせた事に有ります。医師として我々の立場は其々異なりますが、今こそ良い意味での我が国の医療を守って行く努力を怠ってはならないと思います。一方、教室・同門会の現状につきましても別途ご報告が有ると思いますが、帖佐教授を中心として積極的に活動をされております。同門会も皆様方の御協力の御陰を持ちまして順調に運営されております。

昨年、岡村龍先生、谷口昇先生、松山順太郎先生、今村卓郎先生、牧信哉先生、甲斐陸章先生方に入会いただきました。御入会を歓迎しますと共に、会員として、同門会活動への活発な活動をお願いいたします。

新規開業は村田潔先生、福元洋一先生、野中隆史先生、樋口潤一先生がされました。皆様、御盛業中と伺っております。現状は厳しいものがありますが、健康に気を付けられて地域医療に邁進して頂きたいと思っております。

25年度の同門会奨励賞は、吉川教恵先生と船元太郎先生のお二人でございます。おめでとうございます。今後の更なる精進を期待いたします。同門会総会時の講演会は「毎日の診療に役立つ“手外科”の知識」と題しまして、此の度、新会員になっていただきました牧信哉先生にお願いいたしました。加えまして、昨年末は教室初代の教授であります木村名誉教授の米寿のお

祝いが有りました。おめでとうございます。先生は心身共に矍鑠として御活躍中です。お元気なのは先生の天分でもございますが、奥様の内助の功も大なるものが有ると拝察いたします。今後もますます御壮健で、私達の御指導をお願いいたします。今後共、同門会運営につきまして、先生方のご協力を宜しくお願いいたします。



新入教室員歓迎

帖 佐 悦 男

未曾有の災害からの復興は未だ道半ばですが、2013年は、アベノミクスに始まり富士山の世界遺産登録や2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催決定など明るい話題もありました。

教室にとりましては、寂しいお知らせをせざるをえません。教室員の田邊 龍樹先生がご逝去されました。あらためましてこれまでの教室に対しますご厚情に深く感謝するとともに、ご功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

さて、今年の春は三寒四温や寒暖の差がいつもの年より激しかったのですが、久しぶりに花見に出かけ新入教室員やスタッフと楽しいひと時を過ごすことができました。新入教室員を迎えるこの時期は、何度あっても大変嬉しいものです。新年度にあたり巻頭言を述べます。大学では、附属病院の改修工事がほぼ終了し研究棟の改修工事が始まり、新医学部長・病院長の下で新たなスタートを切りました。整形外科の役割は、これまで通り地域に根差し教育・臨床・研究を進めていきたいと思えます。教育に関しましては、人間味のある医師を養成する卒前教育と卒後教育では、整形外科専門医で subspecialty をもつ医師を育成します。また、研究に関しては、昨年も多く賞やグラントの受賞もあり、特に日本整形外科学会基礎学術集会では船元太郎先生が最優秀賞を受賞し大変嬉しい年でした。臨床に関しましては教室員一

丸となり治療にあたり、手術件数に関しても一昨年の1200件を超えております。多くの症例を経験することはレジデントの先生にとっては良い機会ですので、是非多くのことを学んでほしいと思います。また、新たな専門医制度が開始され様々な領域の疾患を経験する必要があり、多くの認定施設が単独では研修できなくなる可能性があります。保存療法はもちろん手術症例だけでも十分経験できるのが宮崎大学病院整形外科の特徴の一つです。同門の先生方には入院待ちなどでご迷惑をお掛け致しますが、医師会との前方連携・後方連携が進むと思えますので、ご協力・ご支援をお願い致します。また、多くの患者さんのご紹介有難うございます。

さて教室には将来を嘱望される4名の新入教室員を迎えることができました。嬉しいしらせです。レジデントの先生には、希望に満ち溢れた新たな出発点となりましたので、夢と目標をもって診療・研究・教育にあたって頂きたいと思っています。臨床に関しては、まず専門医をとり、その後少しずつツスペシャリティを考えもちろん研究に専念したい場合、大学院へ進むことも貴重な体験になります。夜間大学院もありますので活用してください。地方の運動器を扱う整形外科医は、自分の専門を二つ以上持つことが大切と考えています。将来の医師過剰時代の到来に備え、より研鑽して頂ければと思って

おります。今後も多くの教室員が増えますよう教室員のみならず同門の先生方のご協力もよろしくお願い致します。

新臨床研修制度により、研修医が中央の病院へと集中したため、関連病院への医師の派遣が不可能となり、地方の病院、しいてはその地域の患者さんに不安な思いをさせることになっております。また、開業される先生方もおられ私たち教室員同様に苦境に立たされていますが、幸い教室・同門の先生方のご理解・ご支援によりなんとか乗り切ることができています。より一層のご協力をお願い致します。

本年度は、「ロコモ・ザ・ワールド宮崎」について述べます。ロコモの啓発や予防はより一層積極的に進めていく必要があります。これまでは高齢者が対象の中心でしたが、中年のみならず子どもからのロコモ予防対策が喫緊の課題になると考え、様々な取り組みを開始しております。また、記者会見をご覧いただいた

方々もおられると思いますが、青島地区に経産省から事業認定を受けた初めての「ロコモリゾート」を産官学連携し開始します。また、先日のリトルなでしこが世界一になりましたが、メディカルの面から山口奈美医師が帯同しサポートし優勝に貢献してくれました。東京オリンピック・パラリンピックの開催やトライアスロン日本代表の宮崎での合宿も決まり、文科省から評価された「スポーツメディカルランド宮崎」をより一層進めていきたいと思っております。

最後になりましたが、新たに入局していただいた先生方を加え、教室員の和を大切に、質の高い臨床・研究を実施し、学内外連携を推進し開かれた特徴ある臨床外科系講座として貢献したいと思っております。そのためにも、教室・同門の先生方のご指導・ご鞭撻を、これまで以上によりしくお願い申し上げます。

目 次

ご挨拶	河野雅行
巻頭言	
新入教室員歓迎	帖佐悦男
追悼文	
田辺龍樹君を悼む	田島直也 1
田邊龍樹先生を偲んで	園田典生 2
田邊龍樹先生追悼	松元征徳 4
木村先生米寿祝賀会	
木村先生米寿祝賀会によせて	武内晴明 7
メインテーマ ～幸せを感じるとき～	
「幸せ」を感じるとき	関本朝久 9
幸せを感じるとき	吉田尚紀 12
幸せを感じるとき	吉田修子 13
幸せを感じるとき	山口洋一朗 15
学会賞受賞	
第40回日本股関節学会学術集会優秀ポスター賞を受賞して	関本朝久 17
第28回日本整形外科学会基礎学術集会最優秀ポスター賞受賞について	船元太郎 18
第8回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して	吉川教恵 21
第8回宮崎整形外科医学奨励賞を受賞して	船元太郎 22
医局長挨拶	
医局長挨拶	濱田浩朗 24
同門会・医局行事	
日整会野球大会を振り返って	石田康行 26
西日本整形外科野球大会を終えて2013 - 1軍 -	石田康行 27
西日本整形外科親善野球大会を振り返って - 2軍 -	船元太郎 28
日本整形外科学術集会親善サッカー大会予選を振り返り	永井琢哉 30

同門会ゴルフ大会	益山松三	32
第16回同門会テニス大会	松本英裕	33
麻雀大会について	李徳哲	34
野球検診報告2013	石田康行	35
第35回九州手外科研究会を終えて	矢野浩明	37
第35回リハビリテーション医学会・九州地方会開催報告	鳥取部光司	39
第50回宮崎県スポーツ学会記念大会	田島卓也	40
MY JOURNEY TO THE LAND OF THE RISING SUN	EDWIN HOMENA	42
医局旅行報告	山口洋一朗	44
1年を振り返って		45
新規開業		
新規開業	野中隆史	47
開院のご挨拶	樋口潤一	48
開業にあたって	弓削七重	50
新入会員紹介（賛助会員）		
整形外科 賛助会員入会のごあいさつ	今村卓郎	52
私と“手外科”	牧信哉	53
賛助会員入会 ご挨拶	甲斐睦章	55
新入会員紹介（正会員）		
自己紹介	谷口昇	57
自己紹介	今里浩之	58
自己紹介	齊藤由希子	59
自己紹介	平川雄介	59
自己紹介	横江琢示	59
同門会総会議事報告書		60
教室同門の研究業績（2012年度）		62
編集後記		92



田辺龍樹君を悼む

田島直也

平成 25 年 11 月 28 日、突然の訃報に接し全く驚愕しました。かつて病気とは伺っていましたが、こんなに早く逝去されるとは全く残念でなりません。

龍樹君はスポーツマンであり、彼が在学中バスケット部の頃から、私もバスケットをやっていた関係からよく知っていました。先頭に立って走り、コートに立つ雄姿は今もはっきり想い出されます。

日向学院中学、高校、宮崎医大とバスケットのキャプテンをつとめ、大学卒業後は私共の整形外科教室に入局、入局後は大学病院、大学関連病院で研鑽をつみ、脊椎外科、関節外科ともに造詣が深く、同僚、患者さんからも厚い信頼がありました。

まだまだ整形外科医としてこれから活躍出来たのに残念でなりません。

平成 3 年 12 月 8 日、登喜子夫人と結婚式を挙げられ、私共が仲人をつとめさせて頂きました。その時私は“幾多の困難があったとしてもスポーツに打ち込んだ情熱と Power、それに目標と先見を見る Vision、少々の冒険をする Venture、それに勝利を目指す Victory の 3V の旗の下に頑張るように！”と話しました。

龍樹君、君は人生を燃える情熱をもって走りぬきました。しかし、残された御家族の心残りはいかばかりか私共も痛恨に堪えないものがあります。

過ぎし日の龍樹君を偲び、心からご冥福をお祈りします。

どうぞ安らかにお眠り下さい！

合掌



田邊龍樹先生を偲んで

藤元総合病院 園田典生

田邊先生は私が平成元年に入局して以来お世話になった尊敬すべき先生です。その先生が諸事情で平成21年10月より当院に赴任されることとなり赴任に際して先生を脊椎外科部長としてお迎えたのですがそれまでのご経験から骨折などの外傷、関節外科もご自分から率先して「自分の患者さんに対してはできることは自分で治療したいから」とのお考えで積極的に治療されていました。そのことは患者さん達が一番理解されていたようで田邊先生じゃないといけないという多くの方が当院を受診していました。また病棟業務・当直・休日当番も先生は私を含め後輩ドクターと同様にこなされ学会などは「僕が留守番するから行っておいで」と後輩への思いやりにいつも感謝していました。先生に我々後輩は甘えてばかりでご無理をさせたのかもしれない。

田邊先生がご病気になられてからのことに関してご存じない先生方が多いと思いますので同じ職場で勤務した最後の教室の後輩として書かせていただきます。医師としていかに情熱を持って闘病生活を送られたか、特に私より若い先生方で田邊先生と一緒に勤務されたことのない先生方に先生のお人柄を少しでも知っていただければと思います。

平成24年4月の検診で便潜血反応が陽性でその後の精査でご病気（S状結腸癌）がみつかり初回手術（腹腔鏡下）後の6月から3週間お

きの定期的な抗癌剤治療（1泊2日の入院で夕方まで通常診療をされ、その後に入院、夜から抗癌剤投与、翌日午後に出退院）を継続されながらずっと診療を続けられました。しかし12月に転移性肝腫瘍が判明し大学への再入院、再手術（開腹）となりました。平成25年2月末には体調をみながらの形で再復帰されました。その頃にははいり瘦が目立つようになりました。また外科Drの話では職場復帰は困難で緩和ケアを勧めるような病状であり実際にその話も先生ご自身にされていたようです。それでも診療を中止されることなく患者さん、我々後輩に対してそれまで通りに明るく接していただきました。またその頃だと記憶していますが宮崎市内からの通勤がきついため奥様と生活されるために都城市内にアパートを借りられたようでした。しかし3月中旬に強い腹痛があり当院外科でイレウスの診断を受け大学へ再々入院、その際入院で人工肛門が作られました。その後も大学を退院されてからは病院へ出てこられ診療をされましたが6月に急速な黄疸が出現し検査で切除不能な多発肝転移がみつかることとなりました。その段階でも私には「体調が良くなって復帰するからそれまで迷惑かけるね。」と話されましたがその数日後に当院外科Drから私は先生の病状が非常に深刻で一般的には余命が半年程度であることなどの説明を受け愕然としました。大学での4度目の

入院治療を受けられることになりましたがこれまでのようにしばらくして退院、復帰ということにはなりませんでした。それでも少しずつ体調は改善され食事も摂れるようになった9月に宮崎市内で最近開業されたM先生を発起人としての食事会が開かれ私も出席しましたが比較のお元気な様子でその時も「今度の抗癌剤は効果があるようで治療を受けながらも週1回は病院に顔を出すよ。」と話されていました。6月に外科Drの話聞いていた私は「お体を優先してくださいね。」としか言えませんでした。食事会後のしばらくして当院へお見えになりましたが大変きつそうなお様子でその間隔は少しずつ長くなり3回目が最後でした。

最後に病院に来られてからは先生からのご連絡もなく私から連絡も取りづらい状況で少

しでもお元気になれることを祈るばかりでした。教室からの応援をいただきながら日々の診療に追われていた矢先に矢野先生から田邊先生の急変の連絡が入り、次に先生のお顔を拝見したのはお通夜の時となりました。

本当に先生にはご無理をさせてしまいご家族と過ごされる時間がとれなかったのではと後悔するのみです。最後まで診療に携わろうとされるお姿は我々後輩にとって見習うべきであり先生と最後まで診療できたことに感謝しております。飲み会が好きだった田邊先生、後輩の冗談にも笑いながらつきあっていただいた田邊先生、先生と過ごせた時間は医師として社会人として私の財産となりました。ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。





田邊龍樹先生追悼

松元 征徳

.....

欲はなく決して怒らず いつも静かに笑っている

あらゆることを 自分を勘定に入れずに よく見聞きし分かり

.....

東に病気の子供あれば 行って看病してやり
西に疲れた母あれば 行ってその稲の束を負い

南に死にそうな人あれば 行って怖がらなくてもいいといい

北に喧嘩や訴訟があれば つまらないからやめるといい

.....

みんなにでくのぼうとよばれ

褒められもせず 苦にもされず

そういうものに わたしはなりたい

田邊さん、あなたを思うとき、この賢治遺作のメモ「雨にも負けず」を思います。

田邊さん、天国の暮らしはどうですか？相変わらず笑って美酒を楽しんでいることでしょうか。柩にこっそり入れた芋焼酎と煙草に気づきました？

田邊さんの追悼文、すいませんが、まずは説教から。いつも、あなたに欲はなく、よく笑

うのはいいですが、物忘れが多く、あっじゃった！が口癖でしたね。最後、あまりにも早く逝ってしまい、残された奥様、子供達になんと言いつい訳しましょうか。天国であっじゃった！ですか。田邊さんには少しでも欲深くわがままに少しでも迷惑かけてもっと長生きして欲しかった。先日、奥様と子供達が挨拶にみえましたよ。心配しないでください。田邊さんに似ずに、すごくしっかりしています。決して寂しい様子を表に出さず元気そうで、田邊さんに似て、前向きでよく笑ってくれました。

田邊さんと初めて会ったのは、大学病院で小生が研修医の頃です。当時、研修医は私一人(他4人の同級生は関連病院へ)、大学、子療、新生、財部などの当直を一人でまわせず疲弊していると、お疲れさん、当直変わるが、遠慮すんな！また、当時は研修医には輪読会もあり、毎週、一人で英訳していると、お疲れさん、半分訳しちゃうが、遠慮すんな！田邊さんだけでした。

田邊さんの外来は多くて内容は濃かったですね。覚えていますか？頸椎捻挫で数年も通院している患者達があまりにも田邊さんに噛み付くので、田邊さん、とっとと自賠きったらと指摘しました。マツ、患者が痛いと言えば聞かんといかん、患者を信じないと患者は医者を信じてくれない。また、人事異動で来る少し問題

ありと噂の研修医に対しても、マツ、ここでは〇〇を信じないと〇〇は変わらない。決して、人の悪口や陰口を言わず、人を信じる田邊さん。田邊さんが信じた患者達はいまでは小生の病院に通院して少し利口になりましたが、相変わらず嘸み付いてきますよ。〇〇達後輩は優秀な医師となり、今ではすごく助かっています。

田邊さんとは入院の適応でも口論しましたね。超高齢で肺炎入院になったRA患者、化膿性脊椎炎で何もできない透析患者などなど。ベッド満床で、整形外科的処置はできなのになぜ内で診るのかと問い詰めると、マツ、俺が主治医になるから文句ないやろと言いました。そして、患者さんが、ご臨終のとき、家族と一緒に泣いていましたね。長い付き合いだから、俺が看取りたかったと泣きながら話された姿は忘れません。田邊さん、看取るたびに、何度泣いたでしょうか。

また、入院患者紹介の電話が来ると、お辞儀しながら（相手には見えません。電話ですから～）、はいはいはい・はいはいはい（はいは一回でお願いします）・分りました。いつでも構いません。ありがとうございます、はい、ありがとうございます。いつも感謝しながら、断らないから、仕事は大忙しでしたね。ただ、あまりにもあっちゃったが多いから、私が大きなメモ帳を買ってあげました。けど、数日後にはなくしてました。

田邊さん、今も思うんです。先生が開業されたら、病院だけじゃなく田邊教（宗教法人）でも何でも、どんなに流行っただろうかと。医者 の三器とは、薬、メス、言葉。田邊さんにはプラス信念があったから、先生は動じないし、患者のみならず先生と出会ったみんなが田邊さんの信者になったんでしょうね。信念を憧れの

存在とするならば、天国に逝った田邊さんは小生にとって神、仏よりも信じ念ずる存在で、永遠の憧れになりました。ずるいですよ、天国に逝ったら、小生には努力してもあなたに迫り着くことはできないですから。

田邊さんが病気になる、何度か話しました。すまん。心配かけてすまん。迷惑かけてすまん。何度も謝らないでください。辛かったです。マツ、少し調子よくなれば外来から始めたい。仕事せんと体がなまるぞ。田邊さんは病気について全部承知しながら、天を恨むことなく、すべてをベストと思えるんですね。田邊さんの壮絶な闘病生活、小生は天を神をも恨み憎みました。この追悼文を書きながら、小生のような欲深く、怒りやすく、すべて勘定しながら、人の話も遮るような人が生かされている。それでも足りず人から褒められたい、認められたいと思っている。田邊さん、まだまだですね私なんか。

昨年の秋夜、気のあった先輩後輩有志集まった田邊さんの退院祝いの会が最後の晚餐になりました。迎えに伺ったときは抗がん剤で熱発していましたが、帰りはすっかり熱も下がり、楽しかったのかよく話してくれました。PTCD周囲のガーゼは黄色に染まり排液管は溢れそうの中、マツ、みんなに会えて良かった、元気もらった。ありがとう、ありがとう。何度も感謝されました。その数週間後に葉書が届きました。皆様の温かいお言葉を胸に、一日も早く職場復帰できるよう、頑張りたいと思っております。田邊さん、気を遣わない約束なのに、色々気を遣わせて申し訳ありませんでした。外来復帰を願っていましたが、急変しそのまま帰らぬ人になりました。田邊さん、無念だったと思います。あなたの残された温かいお言葉、優しさ

と笑顔を胸に、残された若輩者は日々努力する覚悟です。けどね、田邊さん本当に寂しいです。この同門会が家族の絆を目指すなら、小生の後輩・弟（何でも指令にラジャー OK）の田爪、小生の親分・兄の田邊さんが天国に逝ったんですから。今も焼酎飲みながら原稿がぐちゃぐちゃですが、少しずつ天国の方がいい仲間がいるような感じになるのは年取ったからですかね。合掌の作法は、右手を仏、左手を自分で合わせて一つという慈悲の心です。小生の右手の仏はお世話になって先に逝った恩師仲間が増えてきました。田邊さんが逝った後に、仲間達から電話、メールが来ました。田邊さんの分まで精一杯生きるってことが田邊さんへの恩返しだって。

身は花とともに落つれども、心は香とともに飛ぶ。(性霊集) 田邊さん、本当にありがとうございました。散って咲くのが田邊の花、安らかにお眠りください。

合掌

最後に紙面をお借りして、見舞い金の口座は今年 11 月 28 日まで残す予定です。有志の皆さんの香典としての振込が続いております。本当にありがとうございます。



木村先生米寿祝賀会によせて

九州記念病院 リウマチ科 **武内 晴明**

木村先生の米寿達成を心からお慶び申し上げます。思い返せば、木村先生はとても思慮深く慎重で粘り強い苦勞人であられました。木村千仞先生は昭和2年2月5日のお生まれです。父君の仕事の関係で、17才まで北朝鮮の平壤で生活。動乱のなかを生き延びられ（万宝山事件）、戦後は第五高等学校で苦学、医学部学生時代はサツマイモを飴にして背負い熊本の大津から阿蘇まで徒歩で売り歩いたり（戦国時代の斎藤道三は油を売って歩いたそうですが、勤勉家の木村先生が油を売られたことは一度もありません）、二本木（熊本市の遊郭）で家庭教師をしたり、また、昭和29年に熊本医科大学を卒業し、玉井門下生となり、インターン時代は生活のため長崎の軍艦島（その島影が戦艦「土佐」ににていることよりそう呼ばれることになったそうですが、アメリカの潜水艦が軍艦と間違えて魚雷を発射したこともあるそうです）での石炭掘りのアルバイトで糊口をしのぐ生活をされていたそうです。昭和34年熊本大学大学院を卒業後、指宿の国立療養所に勤務となり、脊椎カリエスの大手術を行ったり、病院の組合と衝突して大変な苦勞をされたとのこと。昭和49年6月宮崎医科大学整形外科開設のため玉井教授の要請で整形外科助教として赴任されました。その後、宮崎県病院内に間借りし開設の準備をされましたが、スタッフは伊勢先生と矢野先生のみでした。教授選前

は大好きなお酒を断ち、西橋通りの絹小路のママさんの誘いも頑固に拒否して仕事に没頭されていました。

昭和54年1月苦勞に耐えてみごと整形外科教授に就任されました（この時、私はともかく「教授」になった人は偉大だと感じました、それは助教時代のある苦難を突破した者のみが獲得できる地位であり名誉であると体感したからであります、田島教授も助教時代、木村教授の下で苦勞されました、ただし帖佐教授は苦勞を苦勞と感じないタイプなので多分苦勞はしていないと思いますが?）。教授となられてしばらくはスタッフの数も少なく、患者数も少なかったのですが、その後、宮崎医科大学の卒業生が入局してくるようになり、また、渡辺雄先生（関節鏡の導入とゴルフの指導）や長鶴先生（変形性股関節に対するSAO）、桑原先生（関節リウマチ、環軸椎亜脱臼）など宮崎以外からの有能なスタッフが木村教授を慕って集まり宮崎医科大学は漸次充実してきました。

私事で恐縮ですが、関節リウマチについて木村教授に直接多くのことを教えていただき誠に感謝しております、また直接医学知識なことだけでなく、何事にも非常に慎重な態度についても学ばせて頂きました、例えば、手術機械の準備をするとき、担当医にこれとこれを準備しておきなさいと命令しているのに、自らも手

術場に同じものを準備するように電話をされていた。私も、その習慣が身についたのか、若手医師に対して同じような事をしていましたが、若手の医師から「先生は私を信用していないのですかと反発されました」私は木村教授に反発するどころかやはりこのくらい慎重に物事に対処しなくてはならないのだなと感嘆しておりましたが、私が同じ事をするとうらやまを食らうのはやはり、木村教授と違って私の人徳のなさであると認識しています。

宮崎医科大学が充実してきた昭和 61 年 10 月木村千仞教授を会長として第 14 回日本リウマチ関節外科学会が盛大に開催されました。これは、木村教授の多大な業績が日本リウマチ学会及び整形外科学会で認められた賜と思います。

平成 2 年 3 月には宮崎医科大学整形外科の発展繁栄を田島先生に託して教授を勇退されました、そして、木村教授の希望どおりに田島教授が教室を発展させ、その後、何でもこなせる (multi-potencial な) 帖佐教授がその才能と実行力及び指導力で現整形外科教室を驚くくらい飛躍させております (今まで一度も帖佐先生を褒めていなかったのが今回のみは褒めさせて頂きました)、これらはひとえに木村教授のご指導、ご教授の賜です、従って、宮崎大学整形外科教室の同門会員は木村教授のご恩を忘れてはなりません。

今後も、木村先生がますます健康で長生きされることを祈願しております。次回は 12 年後に木村先生の百寿祝いを予定しております。





「幸せ」を感じるとき

関本朝久

この度、「幸せを感じる時」という題目で寄稿が急遽依頼されましたので、せっかくの機会ですので色々考えてみました。もちろん、日々の診療において患者さんが健康になることが一番の「幸せ」ですが、現在私は骨関節研究のテーマで大学院生を指導しております、その皆さんが頑張っって色々な成果を挙げることが私に「幸せ」と感じる瞬間です。今回は私が熊本大学に行くことになった経緯やこれまでの活動状況も含めてお話ししたいと思います。私は今まで大変多くの方々から「幸せ」を頂いており、心より深く感謝申し上げます。

私が初めて熊本行きの話を受けたのは平成5年10月でした。その月に日本整形外科学会基礎学術集会在信州大学主管で開催され、私の恩師の熊本大学の山村研一教授が「マウス個体の遺伝子操作と整形外科関連疾患」の題目で教育研修講演をなされました。その講演を田島直也名誉教授が拝聴されて、これからの骨関節研究には遺伝子機能解析が必須になると確信され、そのすぐ翌週に当時大学病院で病棟業務をしていた私は教室に呼ばれ、翌年からの大学院進学の手配を受けました。そして翌11月、田島教授、福田医局長、私の3人で、熊本大学の山村教授に大学院生受け入れのお願いに上がりました。その時私は分子生物学を何も知らない研修医だったのですが、山村先生は優しいお言葉で私を迎え入れて下さいました。今思え

ば、本当に「幸せ」な事だったと思います（同門会誌 H6 年）。

その後私は平成6年から15年までのおよそ10年間、研究は熊本大学、臨床は谷村病院で大変お世話になりました。谷村病院の市原先生、谷脇先生には心より感謝申し上げます。私は当初、宮崎大学大学院の所属でしたが、山村教授に熊本大学で初めて転入学制度を採用して頂き、平成7年の大学院2年生途中から熊本大学大学院に転校しました。そして日々のご



H7 春：熊大で実験中の私



H9 夏：山村教授宅にて

指導のお陰で平成9年度に学位を取得しました。大学院修了後もスタッフとして在籍させて頂き、国内はもとより、国際学会も経験させて頂きました。その間、数多くの方々と交流を深めることができ、沢山のすばらしい思い出ができました。そしてかけがえのない多くの友人と出会うことができました。これもまた、とても「幸せ」な事だと思います。その同僚達とは今でも時々飲み会を催しております。そして同じ頃、宮崎の同僚からも野球やゴルフの際には必ず熊本まで声をかけてもらいました。このお誘いがなかったら宮崎には帰らなかったかもしれません（同門会誌 H22年）。また、私が熊大在籍中の平成12年には、父が交通事故に巻き込まれ頸損を受傷しました。この時も県立延岡病院の先生方をはじめ多くの先生方に大変お世話になりました。そのお陰で、今はのんびり暮らしております。本当に「幸せ」な事だと思います。

平成15年に宮崎大学に帰った私は、しばらく下肢グループの入退院係や4年間の医局長を歴任しました。医局長の期間は、教室員の先生方、同門の先生方の為に少しでもお役に立てればと想い頑張ったつもりですが、4年間も医局長を勤めることができ、無事に矢野先生にバトンを渡すことができましたのは、多くの教室員の先生方、同門の先生方に支えていただいたお陰と心より感謝申し上げます。この医局長の経験も大変「幸せ」な事だと思います（同門会誌 H17-21年）。また、私がキャプテンを務めさせて頂きました日整会全国野球大会では、悲願の全国大会2連覇を達成することができました。これも御協力頂きました多くの皆様方のお陰とっております。ただでさえ当直のやり繰りが大変なのに私達を野球大会に気持ち良く送りだして頂いた諸先生方の御支援、御協力に何より感謝申し上げます。いつも思うのですが、

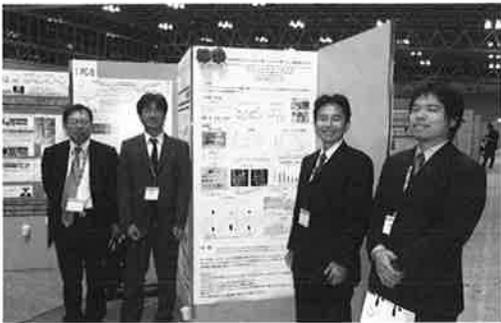


H17春：日整会野球初優勝横浜スタジアムにて

野球大会の勝利は教室員全員での勝利です。私はキャプテンとしてこの機会に恵まれ、田島名誉監督、帖佐監督を胴上げできたことを生涯忘れることはありません。野球からもまた「幸せ」な時間を頂きました（同門会誌 H16-19年）。

そして4年間の医局長担当後に、平成20年から帖佐悦男教授の下で新たに研究室を整備させて頂き、再び山村教授との共同研究の体制で骨関節研究を始めました。帖佐教授にはこのような機会を与えて頂き、とても「幸せ」な事だと思っております。現在もスタッフ数や予算・設備の問題、研究方針など試行錯誤の毎日ですが、山村教授にお会いしてからちょうど20年目の平成25年10月に、私が山村教授にお会いするきっかけとなった日本整形外科学会基礎学術集会におきまして、可変型遺伝子トラップ法で作製したマウスの骨関節研究の演題で「最優秀ポスター賞」を受賞させて頂きました。これで私がひとりで熊本大学に行ったことが報われたような気がしました。本当に「幸せ」と感じるひとときでした。これもひとえに山村教授ならびにスタッフの方々にご指導頂きましたお陰とっております。その山村研一教授は、今年3月に28年間の教授生活を終えられ、お健やかに Happy retirement の日を迎えられました。また、昨年度は研究活動においても「幸せ」と感じる瞬間がいくつも訪れました。船元太郎先生が日本整形外科学会基礎学術

集会にて最優秀ポスター賞受賞・宮崎整形外科
医学奨励賞受賞、黒木修司先生が整形災害外科学
研究助成財団エーザイ奨励賞受賞・優秀ポ
スター賞ノミネート・科学研究費基盤研究C採択、
大田智美先生が科学研究費挑戦的萌芽研究採
択、と数多くの成果を挙げて頂きました。皆さ
んそれぞれ臨床とともに本当によく頑張った
と思います。私は熊本から宮崎に帰る際に、山
村教授から『人を育てなさい』とお言葉を頂き
ました。これで山村先生との約束が果たせて、
とても「幸せ」と思っております。後々振り返
った時に、平成25年度が一番良かったとなら
ないようにこれからも頑張ってお参ります。



H25 秋：日整会基礎 最優秀ポスター賞受賞

このように私は今まで大変多くの方々から
数多くの「幸せ」と感じる瞬間を頂きました。
このような様々な「幸せ」に際しまして、今ま
であらゆる方面からご指導ご支援下さいまし
た帖佐悦男教授、田島直也名誉教授、山村研一
教授をはじめとします諸先生方、そしてスタッ
フの皆様心より深く感謝申し上げます。これ
までの「幸せ」は、数多くの皆さんのお陰と思
っております。本当にありがとうございました。
これからは「幸せ」を頂きました皆様に、少し
でも「幸せ返し」ができますよう頑張ってお
参ります。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し
上げます。



幸せを感じるとき

えびの市立病院 吉田尚紀

「幸せを感じる時」というテーマをもらった時、はた？と幾分困った自分があるのが分かりました。なぜなら最近「幸せを感じる時」があまり無いように思えるからです。ですので、一日の生活を振り返って「幸せを感じる時」みようとと思い、筆をとって見ました。

朝は大体5時30分から6時の間に起きて、5歳になるコーギーの「ケン」と朝の散歩に出かけます。自宅の近辺を大体20分前後かけて散歩しますが、その時はリラックスでき、頭を空っぽにする事が出来るので、少しは幸せを感じる時と思われます。しかし、パジャマ姿なのと、今年は花粉症がひどくて、マスクしながらなので、他人から見ると多少危ない人に見られているかもしれません。

散歩後、車で約1時間かけて、現在の勤務地である、えびの市立病院へ出勤するのですが、車の運転は嫌いではないのでその時も少し幸せを感じていると思います。但し、安全運転には気を付けているので、完全にリラックスしているわけではありません。

なんやかんやで、1日の勤務も終了し自宅に戻って、すぐに、「ケン」との散歩にでかけます。犬の為というよりは、自分の為散歩している感じがあります。最近、メタボ体型になりかけているので、運動もかねて散歩しています。

散歩後、風呂か夕食をとりますが、家族との団らんが一番落ち着き、もしかしたら一番の幸せを感じる時かもしれません。妻や、3人の娘達との何げない会話や、ふれあいが最高の幸せなのかも最近感じています。

この様に、実際幸せについて書いてみると、ふとした事や、しょうもない事でも自分の考え方一つで幸せに感じたり、逆に不幸せに感じたりするのかもしれません。今後は、幸せに感じる時が、たくさんになる様に病院勤務や家族との生活をしていこうと、「ケン」と散歩しながら思う事でした。



幸せを感じるとき 「アメリカ珍道中」

吉田修子

「幸せを感じるとき」とのお題をいただきました。

私事ではございますが、平成26年3月16日に結婚いたしました。今回、山本先生、益山先生、坂田先生のご厚意もあり新婚旅行に行く機会を頂き、そのことを書こうと思います。

新婚旅行で行先に悩み、旦那はグランドキャニオンが見たい、自分はハワイでのんびりしたいと意見が分かれました。JTBで検索すると両方とも行くことのできるツアーがありそちらを申し込むことにしました。行きも帰りもハワイアン航空を利用しました。しかし、ハネムナー向けだと旅費が20万近く値段が違うため食事なしの現地添乗員が案内するというバックツアーにしました。

出発の日、行きの航空費をケチって二人で車を運転し福岡空港まで向かいました。福岡空港で出発前からビールを飲み搭乗口へ向かうと自分達と同じようなカップルだらけで、みんながハワイの観光本を持っていました。21時発ホノルル空港行きに乗り込むとハワイアン音楽が流れ、その時点で幸せを感じていました。食事もロコモコが出てきたりハワイアンホーストのチョコレートも付いておりハワイのビールも飲み放題で大満足です。ipadの貸し出しなどもありゲームや映画など充実した12時間でした。ハワイへ着くとローカル線の搭乗口までの案内

があり移動しました。ラスベガス行きの飛行機まで5時間の待ち時間があり空港の中でうろろしたのですが空港内が広く、気温も30度近くあり真冬の服装だったため汗だくに。ラスベガス行きの搭乗口には自分達以外日本人の姿はなく、アナウンスも聞き取れずかなり不安でしたが何とかラスベガスまで着くことができました。ラスベガスまではハワイから約6時間。着いたときは24時近くでした。そんな夜中にもかかわらずJTBの添乗員さんが搭乗口まで出迎えに来てくれていてそこからホテルの部屋の中まで案内してもらいました。マッカラン空港には搭乗口降りたところからカジノ台があり、ラスベガスの街並みも空港を出たらすぐみることができ10分くらいでホテルへも着いてびっくりしました。ホテルに入るとカジノに人がたくさんおり案内してもらわないと迷うほどホテルの中が入り組んでおり、さらに入口から客室まで10分程度歩かないといかずめんどくさかったです。機内食はしっかりいただきましたがまともな食事をあまり食べていなかった



め24時間営業のスーパーへ買い出しに出かけ、アイスの種類の多さとサイズのでかさに圧倒されました。夜の一時半に消灯し、朝は5時起きて6時集合のグランドキャニオンツアーへ出かけました。飛行機で行くツアーもあったのですが道中も楽しかろうとバスツアーを選択しました。途中、ディズニーのカーズの舞台になったセリグマンという町で下車しました。ピクサーの人がセリグマンを家族旅行で訪れてカーズがひらめいたのだそうです。そこからまたバスで4時間かけてグランドキャニオンに到着しました。グランドキャニオンは広大すぎてありがたさがよくわからず、谷底へ降りる道を5分だけ降り（谷底まで降りると5時間、上ると10時間かかるのだそうです）、インディアンの店で怪しい薬草の入った標本のようなものとインディアンが使う石鎚を購入し、帰りもバスで6時間かけてラスベガスへ戻りました。そこからタクシーに乗りダウンタウンにあるフリーモントストリートへ向かいます。フリーモントストリートでは1時間に1回10分間のショーがあり、アーケードの天井が巨大スクリーンになっており毎回違うショーが楽しめるのですがぎりぎりまでグランドキャニオンツアーへ行っており2回しか見ることができませんでした。次の日は一日自由時間でラスベガスを歩いて観光しました。朝ごはんをしっかり抜いて、昼はシーザーズパレスのピュッフェへ向かいました。ラスベガスではたいていどのホテルでも食べ放題があるようで、シーザーズパレスは特に人気があり行列に並び、約500種類（内デザートは100種類）を片っ端から胃袋が限界になるまで摂取しました。夜はシルク・ドゥ・ソレイユのショーのKAを観に行き感動したためすぐに別のホテルへ直行しもう一つショーを観ました。その後、宿泊していたホテルの前の噴水ショーを動画で撮影してラスベガスの夜を終

えました。翌日は朝7時に集合し、空港で朝食にバーガーキングをたらふく食べ、機内食も残さず食べ昼過ぎにハワイへ到着しました。シルク・ドゥ・ソレイユの空調で体調を壊しハワイへ到着するころには鼻水と寒気が止まらず最悪なスタートでしたが、到着後に念願だった生クリームがたくさん載ったパンケーキを食べることができました。すごく幸せでした。その後現



地でつたない英語を使いながらXLサイズの水着とビーチサンダルを調達し、ステーキハウスへ晩御飯を食べに出かけました。約900gの肉の塊がどんと出てきて食べれるかなと思いましたが完食しちゃいました。翌日は近くのコーヒー屋さんへ水着のまま朝食を買いに行きアサイボールとガーリックシュリンプを海を見ながら食べて、日焼け止めも塗らないまま海ではしゃぎました。しめはディナークルーズでハワイアンショーを観た後にいろんな国の人と歌って踊って終了しました。翌日、体が痛く、日焼け止めに塗らなかったことを後悔しながら帰国しました。結婚式に向けて7kg痩せて、新婚旅行で1.5kgリバウンドしましたがたくさん食べて充実した幸せな時間を過ごすことができました。

改めてこれまでの同門会誌を読み返しておりますと先輩方の文章に比べこんな拙い文章でよいものかと恐縮する次第であります。今、幸せな感じながら仕事ができますことも先輩方のおかげであります。これからも御指導よろしくお願いたします。



幸せを感じるとき

山口 洋一郎

最近幸せを感じたのはいつだろうか？

真っ先に思いついたのはゴールデンウィークに行ったバイクのソロツーリングだった。自分の趣味の一つに「酷道・廃道」を走るというものがある。そもそも「酷道」ってなんだ？という方がほとんどだと思うので簡単に説明させていただくが、国が管理している道であるにも関わらず路面状況が悪かったり、急勾配・急カーブ・狭路区間が多い道というものである。要は悪路だ。3桁国道（265号線など）に該当する道が多い。

今回は走行した路は残念ながら国道ではない。県道、そっち系の用語で「険道」という。（これ以上説明書いても仕方がないので詳しく知りたい方はググって下さい。）宮崎北郷線と大戸野清武線という2路線を走行した。

前置きがだいぶ長くなったが、自分はこの路線を走行しているときとても幸せを感じていた。交通量が少なく、路面も一部瓦礫が邪魔をしていたり苔むしていたりする。カーブにガー



ドレールもなく、落ちたら崖の下という場所も少なくない。自然の中に築かれた文明が自然に呑み込まれていく様が見える。かと思うと、杉の木が伐採された後に新たに植林された杉林が現れたりする。田んぼもあるし護岸された川もある。法面工事などはこんな山奥にいつ誰がどうやって設置したんだろうと思うような場所も多い。枯れ葉が路面を覆い尽くしているというのに、轍が全くない道などとても風情がある（と思う）。

そんな中を走りながらヘルメットのシールドを上げると、顔に直接風が当たる。いい香りだ。速度を出すにつれて目を細める。そして口を閉じる、前に虫が口の中に入ってきて酷い目にあった。前にはくねくねと延びる細い道、下には小石、両脇は森、上を見上げると青い空と白い雲。よそ見をしすぎると落石に乗り上げそうになる。走っていくといきなり目の前の視界が開けて山の中腹に出る。この瞬間がたまらない。どこぞの俳人が詠った「目には青葉」そのものだ。眩しいくらいの緑がそこにある。「山ホトトギス」も聞こえているが、個人的に興味は無い。バイクのエンジンを切って道路脇に止め、辺りの景色を見回していると風の音・鳥の鳴き声くらいしか聞こえない。そしてこの道路が、眼下を走る高規格道路ができるまでは幹線道路として物流を支えていたのだろうな、と考える。今はあまり使われなくなったこの道はい

つまで走ることができるのだろうか、途中で民家があったけど、その住人はどうやって生活しているのだろうか、宅配便の運転手は大変だろうな・・・と思いを巡らすそんな瞬間が大好きだ。そして鞆からカメラを取り出しその風景を写真に収める。後は事故に気をつけながら家に帰る。



当直室で次はどこに行こうか考えて、ニヤニヤしながら外を見る。次の休みは晴れるといいな、なんて考えながら、地図を見ながら山の中の細い道を探す。

その光景は誰がどう見たって、変態の所業だ。こんなことしてていいのだろうかという漠然とした不安の元、今日も地図を見る。地図見る前に教科書読めよ・・・と心の中で考えつつ。



第40回日本股関節学会学術集会 優秀ポスター賞を受賞して

関本朝久

平成25年11月29・30日、広島で開催されました第40回日本股関節学会学術集会におきまして、この度優秀ポスター賞を受賞させて頂きました。永年続く教室の股関節の歴史に少しは貢献できたのではないかと大変うれしく思っております。



発表内容は「白蓋形成不全症のCNV解析」という演題で、白蓋形成不全症のゲノムコピー数多型をDNAチップを用いてゲノムワイドに調べました。この研究プロジェクトは、

日本股関節研究振興財団および科研費から研究助成を頂き、昨年のJORに掲載されました。

今回の受賞者は、学会最終日に評議員・座長の先生方の現場での投票で決まったようで、私が広島を離れようとしていた時に学会本部から連絡メールが届きました。あわてて学会場に

帰ったら、優秀ポスター賞受賞と掲示してありとても感激しました。その日は飛行機の都合もあり、表彰式は帖佐教授にお願い致しました。

昨年度は他にも、中富健康科学振興財団・研究助成金受賞、さらに船元太郎先生が日本整形外科学会基礎学術集会にて最優秀ポスター賞受賞、黒木修司先生が整形災害外科学研究助成財団エーザイ奨励賞受賞及び優秀ポスター賞ノミネートと、皆それぞれ異なる研究テーマで本当によく頑張ったと思います。後々振り返った時に、平成25年度が一番良かったとならないようにこれからも頑張らさせていただきます。

今回の受賞に際しまして、これまであらゆる方面からご指導ご支援下さいました帖佐教授、田島名誉教授をはじめとします諸先生方、スタッフの皆様に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしく申し上げます。





第28回日本整形外科学会基礎学術集会 最優秀ポスター賞受賞について

船元 太郎



平成 25 年 10 月 17、18 日に第 28 回日本整形外科学会基礎学術集会が千葉県の幕張メッセで開催されました。本学会におきまして名誉ある「最優秀ポスター賞」を受賞致しました。

演題のタイトルは「可変型遺伝子トランプ法で作製した Nedd4 欠損マウスは骨量減少を示す」です。この場をお借りして受賞報告をしたいと思います。

今回整形外科教室からは一般演題として関本先生の立案されたテーマ「骨代謝に関与する新規遺伝子の探索」を総論として 1 題、各論を 2 題応募しました。ポスター部門では今回 274 演題が採用となったようですが、そのうちの優秀演題賞候補の 10 題に黒木修司先生の演題と私の演題が選ばれていました。多くの演題の中

で 2 題も高評価を受けたということは総論として発表するもう 1 演題も高く評価していただいたということの意味するものだと思います。我々の研究室の方向性が独創的かつ整形外科分野の基礎研究にインパクトを与えるものだという、という印象を強くしました。

発表については説得力を増すために抄録提出後にいくつかの追加実験を計画しました。しかし、今回のターゲットである Nedd4 という遺伝子は生きていくためによほど大事な遺伝子のようで、この遺伝子を壊すと出生数が少ないうえ、1 ヶ月ほど死んでしまいます。このため、実験に必要なマウスがなかなか確保できず、追加実験のひとつ、組織切片の染色条件が決まった時には 10 月になっていました。なんとか追加実験の結果をだし、発表の 3 日前にポスターを作り上げましたが、残念ながら染色像の質が低い印象は否めませんでした。帖佐教授をはじめ、教室員の前で予演会を行うと、全体のデータや論理、ポスターの構成については問題ないようでしたが、気になっていた染色像については帖佐教授から「差があるのは分かるが他のデータに比べ質的に見劣りする」との指摘を受けました。再実験を検討しましたが、すでに切り出した切片は使い果たしており図の変更は間に合いそうにありませんでした。しかし、新しい切片の切り出しなど準備だけは一応しておきました。

その頃大型で非常に強い台風26号が関東地方に接近していました。宮崎ではほとんど影響がありませんでしたが、関東付近は被害もでたほどで一時は学会に行けるか心配な状況でした。台風の影響で予定していた飛行機がキャンセルとなり、午後の便で羽田へ飛ぶこととなりました。このためポスターの印刷時間を考慮してもぎりぎり実験が間に合いそうです。そこで急いで組織切片の脱パラフィン操作、染色を行うと狙い通りに非常に分かりやすい染色像になりました。染色した切片にカバーガラスをかけ、本来なら一晩静置するのですが一時間ほどで写真撮影を行い、ポスターの写真を差し替え印刷を行いました。空港に到着すると10分ほどで搭乗案内が始まりました。

差し替えた写真は同行した先生方にも学会会場で初披露です。ポスターを貼り終わり皆でチェックを行うと、写真の差し替えでポスター全体の質が向上したように見えました。ポスターのデザインなどのセンスは黒木修司先生が非常に優れており、レイアウトなどいつも力を借りるのですが、そのおかげもあり満足な出来栄でした。最終チェックをしていると帖佐教授が現れ、差し替えた写真についてお褒めの言葉をかけて頂き、飛行機の出発ギリギリまで頑張った良かったと思いました。

優秀賞の発表は2日目にインフォメーションに掲示すると案内があったので、一応チェックに行きました。入試の合格発表を見るような気持ちでしたが、それほどの期待はありませんでした。賞の発表の一番上に自分の名前が書いてあるのを見つけた時の気持ちは、うまく表現できませんが、入試の合格発表とも違う嬉しさでした。帖佐教授に報告すると教授はポスター会場に優勝賞の結果を見に行っており、ポスターに付いている花をみて受賞は確信していたようでした。それが「最優秀賞」であっ

たことを伝えると、非常に喜んで頂きました。また表彰式への出席のため、帖佐教授にはスケジュールを変更して頂きました。表彰式などこれからの人生でも経験することはないと思いますので登壇できて本当に良かったです。



今回の受賞はもちろん私だけの力ではありません。多くの方のご指導や労力を重ねてそれが評価されたものです。今回の遺伝子改変マウスは、熊本大学生命資源研究・支援センターとの共同研究から提供を受けたものです。この遺伝子改変マウスを世に送り出した山村研一先生は大変ご高名な先生ですが、貴重なマウスを提供して頂いたことに深謝申し上げます。平成25年度をもって同センターを退官されましたが、今回の受賞を一つの成果として良いご報告ができたかと思えます。今回の共同研究は先代教授の田島名誉教授が山村先生の講演を聞いたことがきっかけで是非整形外科分野で応用したいと期待を込め、山村先生の研究室へ関本先生を紹介したことがきっかけと聞いております。基礎研究は成果がでるまで10年以上かかることは稀ではありませんが、先を見据えた田島名誉教授の慧眼には敬服するほかありません。その期待に応え「骨代謝に関与する新規遺伝子の探索」というテーマを発案されリードしてきたのは関本先生です。遺伝子の選別のみならず研究費の獲得をはじめ研究室の運営にも尽力され、ご指導いただいた関本先生にも感

謝いたします。また研究室で一緒に実験やディスカッションをしてきた黒木修司先生をはじめ大田先生、技術員の相馬さん、土持さんに謝意を表したいと思います。最後に分子生物学的



研究体制がほぼ無であった整形外科教室に実験機器を整備、実験スタッフを採用して頂き、またご指導いただいた帖佐教授に改めて御礼申し上げます。





第8回宮崎整形外科医学奨励賞 を受賞して

吉川 教恵

この度は、このような名誉ある賞を受賞させて頂き、誠にありがとうございます。私は、平成16年宮崎大学医学研究科（いわゆる大学院）に入学し、平成21年度に「Distinct regulation of insulin receptor substrate-1 and -2 by 90-kDa heat-shock protein in adrenal chromaffin cells (HSP90によるIRS-1/-2の異なる調節機構)」という論文（Neurochemistry International 2010 Jan 56 (1) : 42-50）にて博士号を取得しました。大学院で研究をする機会を与えてくださった帖佐教授はじめ、また、薬理学教室でのまったく臨床とはなれた基礎研究でしたので、その間にご迷惑をおかけしたたくさんの先生方、同期のみんな、研究中のいろいろな支えになってくれた家族に感謝の意を表します。本当にありがとうございました。

私の研究は、前任の外科の先生から引き継がれたもので、現在抗癌剤として臨床応用が始まっているHSP90阻害薬を用いた、インスリンシグナリングの研究でした。使っていた細胞をはじめ、Heat shock proteinや、インスリンシグナリングに関してもまったく畑違いの分野であり、チンプンカンプン。これが、何か整形外科で活かせる事があるのだろうか？とっていました。しかし、今ではHeat shock proteinが臨床的に多くの可能性を持っていることや、実は、インスリンシグナリングは糖代

謝だけでなく、骨代謝にも重要な働きをしていることを知ることとなり、完全な畑違いなんて存在しないんだと思うようになっていきます。意外と基礎研究、悪いモンじゃありません。現在、都城病院に勤務する中で、税所先生のもとリウマチ患者さんの加療にあたっています。私は、リウマチ患者さんとのコミュニケーションを苦手としているため、自分が関節リウマチに興味を持つようになり、リウマチの診療に携わるなんて夢にも思っていませんでした。大学院での基礎研究がなければ、リウマチへの興味はわかかなかったです。直接的に結びつく事は少ないですが、論文を読んだり、学会に参加したとき、自分の研究してきた分野との関わりが出てくると、ちょっとワクワクします。ガッツリ基礎研究はもうすることないのでしょうか、基礎から臨床へ、臨床から基礎へ、どちらも興味を捨てずにいきたいと思います。





第8回宮崎整形外科医学奨励賞 を受賞して

船元 太郎

このたび栄えある「宮崎整形外科医学奨励賞」を受賞させていただくことになり誠にありがとうございました。今回の賞は平成25年10月17、18日に開催された第28回日本整形外科学会基礎学術集会において「最優秀ポスター賞」受賞が評価されてのものです。演題のタイトルは「可変型遺伝子トラップ法で作製したNedd4欠損マウスは骨量減少を示す」です。基礎学会の一般演題へは整形外科教室から「骨代謝に関与する新規遺伝子のスクリーニング」を総論として1題、そして各論として、そのスクリーニングの結果有意な表現型を認めた「Nedd4」「EPLIN (Lima1)」の2遺伝子について応募し、うち各論2題がわずかに10演題の優秀演題賞候補としてノミネートされました。各論2題の高評価は裏を返せば関本先生が立案された「新規遺伝子探索」のシステムが優れているからに他なりません。そこで現在の整形外科教室の軸のテーマである「骨代謝に関与する新規遺伝子のスクリーニング」について紹介したいと思います。

骨代謝に関わる細胞は骨芽細胞、破骨細胞、骨細胞のわずか3つですが、そこで働いている遺伝子、タンパク質についてはまだまだ不明なところが多いです。その解析手段として有効な手法が「評価対象の遺伝子を破壊するとどういふ現象が起こるか」、ということを観察、実験することです。

遺伝子を破壊する技術は確立されており、これを精力的に行っている施設の一つが熊本大学生命資源研究・支援センターです。関本先生が大学院で研究をされた研究室であり、その時から今のテーマの構想を持っていたそうですが、具体化の機が訪れたのをみて共同研究が開始されました。「EGTC」という熊大が作ったデータベースで遺伝子を破壊したマウスの情報が公開されていますが、そのうち骨に変化がありそうなマウスをピックアップして当教室に譲渡して頂き評価しています。評価実験そのものは臨床の延長上にあるものです。例えばCTの撮影、骨密度の計測、血液検査、病理組織学的検査などを行います。実際にはもっと詳細なデータを要求されますので、例えば海綿骨や皮質骨の詳細な構造を解析したり、遺伝子、タンパク質の発現を調べたりします。また臨床ではありえない手法ですが、モデルマウスでの実験ですので大腿骨を摘出して実際に折って強度を調べたりします。これらの実験は研究棟6階研究室とは別に、研究棟2階と3階に分子生物学的実験を行う研究室を帖佐教授に整備していただいて遂行しています。さらに研究の専門的な手技をお願いできる実験スタッフは相馬さん、土持さん2名いますが、4月から新たに永田さんに来ていただくことになり、スタッフも充実して頂きました。

遺伝子を破壊したマウスの骨表現型解析は

破壊した遺伝子が変わるだけで基本的に同じ評価実験を行います。今回高評価を頂いた各論2題も実験内容はほぼ同一ですが、遺伝子の機能としてはそれぞれ全く異なるので新発見の論文として2本作成することを目指しています。スクリーニングを継続し、今後も骨代謝に影響を与える新規遺伝子が発見できると思いますしその評価方法も確立してきましたので、学位をとれるような研究をしたいと考えている先生方には朗報といえると思います。さらに整形外科の研究室で研究できるということは大学院修了後も研究時に得た知識、考え方などが臨床に還元できる可能性が高くなると思います。以上のようなプロジェクトで、日々臨床と研究を両立できるように頑張っています。大学院の話を聞きたい先生はいつでも気軽に立ち寄ってみてください。

今年の状況としましては3月に幸先よく黒木修司先生が整形災害外科研究助成財団エーザイ奨励賞を受賞しました。研究開始当初の関本先生に続く受賞で、研究スタッフ全員で喜んで

います。またつい先日ですが、関本先生、黒木修司先生、大田智美先生の3名の先生が科研費に応募したところ、3題とも採用されるという快挙を成し遂げました。私自身も現在科研費を獲得しており、4題同時に研究を進める必要があります。それに見合う成果を出さないといけないのはプレッシャーになりますが、研究内容に高い評価を頂いているというのはここでも明らかです。

これまで臨床で頑張ってきた中村志保子先生が4月から研究に加わりますので、今後ますます新規遺伝子のスクリーニングが進展していくことが期待されます。今回の受賞はこのテーマで研究を立案実現してきた、帖佐教授、関本先生、大学院で研究中の黒木修司先生、大田先生、また実験スタッフの助力によるものです。感謝の意を表したいと思います。また、奨励賞の受賞は同門会会員皆様の今後の期待も含まれていると思いますので、その期待に添えるべく邁進していきたいと考えています。





医局長挨拶

医局長 濱田 浩朗

今年度より医局長を拝命いたしました濱田でございます。まさに、じぇじぇじぇな人事なのですが任期間は粉骨砕身頑張らせていただきたいと思ひます、まれに「カンファがなくなるんじゃないか?」「三水会がなくなるんじゃないか?」などという心配の声を耳にいたしますが、私にはいかなる権限もございませんので申し添えておきます。

10年前に帖佐新体制となり久保准教授・鳥取部准教授・黒木講師・関本医局長・濱田病棟医長・坂本外来医長でスタートした本体制はちょうど折り返し地点にあります。この10年を振り返りますと現在大学病院では、年間手術件数1300・半日外来数は200と同門の皆様のおかげや医局員の頑張りによって飛躍的に伸びてきており、また研究においては関本先生が研究室を立ち上げ多くの研究費をとってきており、大学院生とともに数々の論文・奨励賞を授与されてきております。さらに船頭である帖佐教授は億の予算で運動器健診・ロコモコール・スポーツ検診など、まさに田島名誉教授が推進された「スポーツランド宮崎構想」を継承発展させ、今や「ロコモの人[※]」と呼ばれるほどマスコミで活躍されているのは皆さんもご存知のことと思ひます。この構想は国・県・大学を巻き込んだ将来の医局の基盤をなす構想であり産・官・学一体となったプロジェクトですのでスポーツチームのキャンプ誘致や中高

年スポーツレジャーにおいて県の発展に大いに貢献することが期待されます。まさに、じぇじぇじぇです。この10年を支えて下さった方々ご苦労様でした。

このように猛ダッシュで駆け抜けてきた10年でしたが折り返し地点に到達し、せっかく積み上げてきたものをどう次世代に伝えるのが大切になってきているのではないかと私は感じてきておりますが皆さんはいかがでしょうか? 教授が交代するたびにゼロからのスタートではリセットばかりしているゲームと同じで先に進みませんので、人材を確保し、そして医師をより高いレベルで教育する事が重要になると思ひます。我々は単なる労働力ではなく患者により良い医療を提供するために日々研鑽する医学者なのですから。

人材の確保について、各病院ともマンパワー不足で1人でも医師を確保したいと思ひておいででしょう。大学でも地域推薦枠20人、全国区高校推薦枠20人取って医師確保を目指しておりますし、当科でも5年での臨床実習・6年のクリニカルクラークシップについては新規臨床研修で整形外科を選択してもらおうと教授を筆頭に必死になっています。また同門会からも多大な援助をいただきそれに応えようと努めておりますが、まれにこれらの努力を無にするような事をされる方もおり、本当に同門なのかと疑いたくなる時があります。もちろん本人

の考えは尊重すべきことですし大学教官も反省すべき点が多々あるでしょうが、県がこれほど努力しているにもかかわらず県の職員でありながら他県への就職を勧めるような実態は県医師のまとまりのなさ、教官の力不足が原因ではないかと思わずにはられません。

医師の教育はどうでしょうか？ 研修医が選択するポイントの一つに医局の雰囲気や魅力的な生涯教育が受けられるのかがあります。では教える人間がどう指導すべきでしょうか？ 各々が違う自分の経験のみで指導する現場を見聞きしますと教えを乞う方は混乱するだろうと思わざるを得ません。一人の医師が50年医者をやっても経験できることは限られています。色々な発表・論文などを参考にし論理的病態を組立て理路整然と説明できなければ教わる方は理解できません。まずは教官、つぎにベテランの医局員は年長者としてではなく指導者として指導できるよう十分な見識をもち専門領域で後進の指導ができるよう勉強せねばいけません。和文・英文の査読をいたしますとまれに発表原稿のような論文や、論理的考察が不十分な論文を散見します。そのような医師が果たして臨床の場で高学歴な医師を相手にどの程度納得させられる指導ができているのかと疑念が生じえません。また、教育病院に帰ってきた医師は単なる労働力ではなく、出るときは入ってきた時とは違う何かをつかんだ状態でなければいけません。そうあるためにも指導者は各自、日々研鑽を積んでいただきたいです。また、同門の先生方には、10年目以下の医局員はまだ未熟なのだという視点で適切な指導と、なるべく多くの研鑽を積む機会を与えていただけるようお願い申し上げます。

さらに、医局員の先生方は何歳であろうとも、学ぶ機会を得られるような人事を優先すべ

きではないかと思えます。自らを成長させる事で、これからの整形外科医となる次の世代に素晴らしいおもてなしができるように頑張りましょう。ちなみに私は放任主義ですのでこれくらいでいい先生にはこれくらいでいい状態が最もふさわしいと考えております。

医局員や同門の先生方の中には10年たっとなにも変わっていない様に感じている方もいらっしゃるでしょうが、私は上記のように十二分な結果を出していると思います、折り返しの10年目で今度は、次世代を考えた医師の確保と教育を中心に、教室をより発展させる足がかりを作るべきではないでしょうか？「それは何時やるの、今でしょう！」私は、多少嫌われたところで特に気にしないし非難を浴びたら辞めればいいと思っているのでご心配は無用です。以上、多少きついことも書きましたがこれらはひいては県医療体制の構築にも影響してきますので、ご賛同いただければ幸いです。

最後に、昨年の流行語大賞の4語を使って新年度の挨拶とさせていただきますが、「倍返し」だけは語意より使いづらく、申し訳ございませんが、以下のように締めさせていただきます。

「医局長が私の時だけ、ダメな先輩や嫌いな先輩がいるならチクリなさい。そんなマイナスな奴には倍返しだ！^{※※}」

(注[※]) 呼んであげてください。本人は体が硬いのを気にしていますが、個人的には宮崎地域づくり顕彰が堅いからいいじゃないかと思っています。

(注^{※※}) 私より下の先生だけです、年上の先生には0.5倍で勘弁してください。0.5倍=きつくお願いする



日整会野球大会を振り返って

石田 康行

同門の先生方には、選手の派遣に御協力いただきありがとうございます。近年は選手の高齢化が進む状況の中、若手選手の補強がなく、開業等で参加できない選手も増えギリギリの状況でチームを編成しています。ご協力いただける先生はよろしく願いいたします。

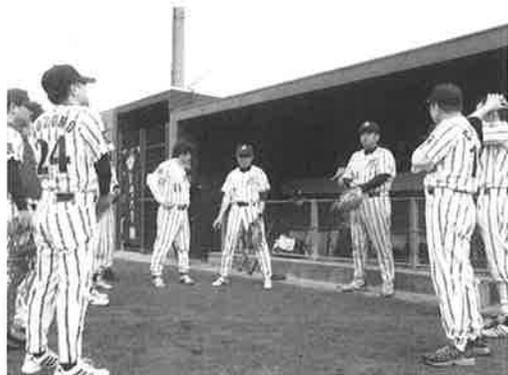
今回は広島での開催でした。初戦は信州大学でした。松岡先生の先発で初回に1点先取されましたが、3回裏に2点取り逆転し、4回裏に5点取り、7-1で勝利しました。

2回戦は東京大学でした。前年は準決勝で対戦し、2-1で勝利した相手でした。最高峰の大学だけのことがあり、毎年若い選手が補強され、スイング、打球が速く、出塁するとどん

どん走ってくるチームでした。試合前の練習から若さを前面に押し出していました。試合は先発の長澤先生が満塁のピンチ等をよく辛抱し、2点に抑え込みましたが、軟投派の投手を打ち崩せず2-1で敗戦しました。

2回戦での敗退は近年では早いかと思いますが選手は十分頑張った結果だと思います。試合に出た選手、ベンチでチームのために力を尽くしてくださった選手お疲れ様でした。野球ができる喜びを感じながら、今後ともチーム一丸となって頑張っていきたいです。

今後とも、同門の先生方には御支援、御協力よろしくお願いします。





西日本整形外科野球大会 を終えて 2013 — 1 軍 —

石田 康行

今回は琉球大学の主幹で沖縄での開催でした。昨年と同様、抽選会では、3試合で優勝できる試合数が少ない組み合わせを引くことができたのですが全試合球場移動でした。しかし、沖縄は宮崎と同様、プロ野球キャンプ地で中日ドラゴンズの北谷、ヤクルトスワローズの浦添、巨人の沖縄セルラー球場とすべて思い出に残る球場で試合ができました。また、夏の試合ごとの移動は冷房にあたれ、ある意味うれしいというプラス思考で試合に臨みました。

2回戦からの試合で久留米大学でした。相手投手は私の一学年上の先生で大学時代よく、勝ち進むと対戦していた好投手でした。スライダーが切れる投手で頭の中はあの頃のまま、対戦しました。先発の長澤先生がサードベースカバーに入った歳、走者と接触し膝を負傷しました。MCL,ACL 損傷でその後の試合は出場できなくなり厳しい戦いとなりました。1点先取されたのですが逆転し、3-1で勝ちました。

準決勝は九州大学です。伝統がある、臨床研

修制度での新入医局員減少の影響を受けない、いつも若手が多いチームです。リードしていたのですがエラーもあり、3-3に追いつかれました。何とか逆転は阻止し、じゃんけんとなりました。じゃんけんでは5-2で勝利しました。

決勝は琉球大学でした。よく、決勝あたり、ドロドロの試合になりなります。琉球の選手はタフで疲れ知らずのようでした。みんなの頑張りがあり、8-4で優勝しました。

運がいいというか、勝ち癖があるというか、とりあえず、よかったです。高齢化が進み、体力の衰えが感じられる反面、試合経験が豊富になり、試合の流れを考えたプレーや声かけができるチームになっています。試合に出た選手、ベンチでチームのために声かけてくれた選手みんなで勝ち獲った優勝でした。野球ができる喜びを感じながら、全国大会でもチーム一丸となって頑張っていきたいです。いつも、同門の先生方の御支援、御協力ありがとうございます。





西日本整形外科親善野球大会 を振り返って — 2軍 —

船元 太郎

平成 25 年西日本整形外科親善野球大会は琉球大学が主管校で沖縄での開催でした。その 2 軍戦を振り返ってみたいと思います。

ちょうど台風が接近しておりコースによっては大会開催自体、といいますが飛行機が飛ぶかどうかという天気図でしたが、幸い飛行機が運休となることもなく無事に那覇空港に降り立つことができました。天気は快晴です。那覇空港からはグループ毎に分かれてレンタカーで移動しました。私は河原先生と海中道路へ車を走らせました。目的？それは windsurfing です。

夏場は基本弱い風しか期待できませんが台風となると別です。直撃するとさすがに出艇できませんが、その周囲は期待できます。今回の台風は西に外れたので、海面が flat で浅く足の着く東海岸の海中道路を選択したわけです。台風特有の呼吸をするような南西からの gusty wind が 8-10m/s くらい吹いていました。最も楽しめる風域です。海面は情報通り flat で speed 勝負のグレンデでした。河原先生は今回初めての挑戦でショップの人に教えてもらうことになっています。初心者には厳しい condition ですが、power のある河原先生なら何とかなるはずです。強風に煽られ暴れようとする board に自分の体を使って sail power を伝え speed に変えると、波を切る音が波頭を叩く硬い音に変わっていきます。音が変わってくる

と目の前の状況に集中していき、wake と一緒に日常の言語的思考が置き去りになります。地元の windsurfer と同方向に走るとちょっとした race になります。adrenaline を全開にして sail をめいっぱい引き込み加速、抜き去ります。ドヤ顔するところですが強大な sail power のため微妙な power valance を保って speed を維持するのが精いっぱい全く余裕はありません。相手が jibe (風下周りのターン) すると、自分も full speed のまま jibe して追っかけますが sail power を control しきれずぶっ飛ばされ爆沈しました。1 時間半ほど乗ったところで河原先生がいないことに気づきました。出艇したところに戻ると「sail を踏み破った」とのことです。Sail は 1 枚 7-10 万しますが、幸い保険に加入していたので痛手は最小限で済みました。久しぶりの windsurfing で oversail condition のため疲労困憊、手のマメは潰れぶっ飛ばされたときに頸も傷めたので試合前の練習？はそこでやめることにしました。

翌日の 2 軍の試合は西原マリンパークで行われました。天気は快晴、南風が 5-6 m/s で吹いており、目の前のハーバーから数艇ヨットが気持ち良さそうに澄んだ青い海に出艇しています。1 回戦は佐賀大学と対戦でした。マウンドが合わないのかエース柳園先生の調子が今一つ良くなく、初回から球が荒れていました。自分は外野を守っていましたが強風のため打球

の予測が非常に難しくポップフライのような打球で簡単に頭上を抜かれました。このような事が重なり珍しく追いかける展開となりました。しかし、打線は調子が良くあっさり逆転、結果 20 - 11 と見事な逆転勝ちです。2回戦は九大が相手です。こちらは点の取り合いで接戦となりました。この試合、MVP といえる活躍をしたのが福田先生です。2軍ではフェンスのある球場で試合をすることがほとんどないので外野を抜けるとランニングホームランになることが多いです。かといって頻繁に出るものでもありません。福田先生の放った打球は鋭くライトの頭上を越え、なんと2打席連続ホームランを打ちました。この日のために筋トレを積んで準備していることは聞いていたのですが、2打席連続ホームランとは恐れ入りました。来年以降のクリーンアップよろしく願います。福田先生の活躍もあって九大戦は 14-13 で辛くも逃げ切りました。準決勝は鹿児島大学と対戦です。この試合の相手は鹿大の選手というより審判になってしまった感じがありました。ストライクゾーンが狭くフォアボールばかりです。リズムがとれないままあれよあれよという間に点を積み重ねられ、大差をつけられてしまいました。相手のピッチャーは制球が良く、ストライクゾーンに投げ込んで来るのでフォアボールで自滅することはありませんでした。自分も急造で投げましたが、投げにくいマウン

ドのせいもあってストライクゾーンに入らずチームを助けることはできませんでした。結果 6 - 23 でコールド負けを喫してしまいました。

今回は3試合で40点取っているのに対し総失点は47点でした。2軍の試合で大味なのはある程度仕方ありませんが、失点が多すぎます。要因のひとつは外野のフライアウトが一つも取れなかったことで（対戦相手も同じでしたけど）外野に飛ばば長打になってしまいました。また内野も以前に比べると安定感に欠けます。ゲッターをとれる守備力があつたのに今はイージーなゴロ、フライ一つでもアウトにできないこともあります。それと絶対的エース、柳園先生以外に実質的にピッチャーがいないことです。これはここ数年抱えている問題ですが、ピッチャーができる人（投げたい人）はいませんか？2軍戦は楽しみながらできればいいのですが、勝つとちょっと楽しめると思います。

その夜は1軍優勝の祝勝会が行われ、非常に楽しかったです。アベック優勝とはいきませんがビールは格別でした。宮崎へ帰ることを考えずに飲めるのは沖縄だけでしょう。毎年沖縄で開催すればいいのに、と思いました。しかし、このような大会に参加できるのも同門会のご協力をいただけるからだと思えます。今後ともご支援のほどよろしくお願い申し上げます。





日本整形外科学術集会 親善サッカー大会予選を振り返り

永井 琢哉

サッカーに関わっていただけること、大学時代のサッカー部の先輩がたくさん整形外科におられたことが整形外科入局のきっかけでした。入局して早5年、毎年、日本整形外科学術集会親善サッカー大会予選に参加させていただいております。仕事を始めてから、なかなか自分でプレーすることは少なくなりましたが、一年に一度はこの予選のためにみんなで集まることができ、いつも心待ちにしております。

私たちはサッカー大会本選に参加するべく、森キャプテンの元、月1回の練習試合を行ってまいりました。しかし、大会直前の練習で森キャプテンが鎖骨骨折という大怪我をしまして、精神的支柱を欠いた状態での予選となりました。

予選は3月30日に大分県玖珠町総合運動公園にて開催されました。例年のごとく、宮崎・大分・鹿児島3チームの総当たり戦にて上位1チームが本選への切符を手にすることができます。大会当日はあいにくの雨でしたが、人工芝のグラウンドは水はけもよく、ピッチコンディションは比較的良好でした。帖佐教授も応援に来てくださり、大量得点をあげ、帖佐教授に出場していただけるようみんな意気込んでいる中、

初戦の大分戦が始まりました。宮崎がボールを支配し、前半に新入局員の横江先生が豪快にゴールネットを揺らしました。しかし喜びも束の間、すぐにゴールを決められ、1対1で試合が終了しました。勝ち点1ずつを分け合って、



次戦の鹿児島に挑みました。この試合も宮崎が優位に試合を進め、横江先生・日吉先生がゴールを決めました。楽勝ムードが漂う中、前半終了間際に1点を返され、2対1で折り返しました。後半は鹿児島が息を吹き返し、猛攻を仕掛けてきました。私たちも必死で応戦しましたが、こぼれ球から追加点を挙げられ、2対2という結果に終わりました。

残念ながら、自力での本選出場はできなくなりましたが、最後の大分対鹿児島の試合結果如何では、3チーム勝ち点差同点のPK戦での出場の機会も残されており、固唾をのんで観戦し

ていました。しかし、前半5分程度で大分が2ゴールをあげ、あっけなく終了となりました。

今回良い報告ができなかったことは残念でしたが、大好きなサッカーをできること、そしてサッカーを通して、先輩方や他大学の先生方と交流できることを幸せに思います。

来年こそはこの同門会誌で良い報告ができるように頑張りたいと思います。

最後になりましたが、いつもサッカー大会への参加を快く送り出して下さる関連病院の先生方へ御礼を申し上げます。



同門会ゴルフ大会

益山松三

平成 25 年度同門会ゴルフ大会は 12 月 8 日にハイビスカスゴルフクラブで開催されました。昨年同様 17 名の参加で晴天のもと和気あいあいとした雰囲気の中、私は名誉ある第 1 組のスコア提出係として市原先生、渡辺先生、坂本（康）先生と回らせていただきました。インスタートの前半は、出だしのホールでボギーを重ね 40 でした。レストランに行く都城の豪族、江夏先生が 41、坂本先生と平川先生が 42 で上がってこられ、大接戦の様相を呈しておりました。なかでも長い日南生活で原因不明のウイルス性シャंक病並びに神主打法症を発病された川のアキちゃん大先生が 42 でまわり、いつも以上に高いテンションで昼食をとっておられました。勝負の後半だったのですが、どうしてもスイングの修正ができずに、前半同様 40 のグロス 80 でした。同組の坂本先生が素晴らしいショット、パットの連続で 37 をマークされ見事 79 のベスグロ獲得されました。ここ数年木曜日友の会で神菌先生とプレーする機会が増えて感染したせいか？ドライバーが絶不調でありましたが、それを補って余りあるフェアウェイウッドの飛距離と正確性、ショートゲームの巧みさに、完全に脱帽させられました。内容的に完敗でいじけている私を見て、同門会紳士同盟の市原先生と渡辺先生が、延岡と福岡でのプレーにご招待して下さると救いの手を差し伸べてくださいました。お二人の優しい言葉と気品ある

プレーぶりに己の未熟さを恥じ入るばかりでしたが、表彰式に参加するとなんと新ペリアで優勝！現金な私は一気に有頂天に達してしまい、支離滅裂なスピーチとなってしまいました。今思えば、このあたりから肝機能が上がっていたのかもしれない。結局グロスの方は実力者の江夏、渡辺先生が 83 と 84 で御本人達にとっては不満足でしょうが、安定した実力を発揮されました。前述の神主様の後半は、おそらく優勝スピーチを考えながら回られたために 49 と少し崩れた感じとなりましたが、動画解析のプロフェッショナル柳園先生の指導は確実に成果を上げており、近いうちに大きな花が咲くことと思われます。グロス 91 はうまく隠しホールにマッチし、準優勝でした。幹事の平川、川越、神菌先生、ボランティアの柳園、川野先生の円滑な進行もあって本当に楽しい 1 日でした。いつもご苦勞様です。平成 26 年度もダブルペリアで良い成績が出るように、運気が上がるような生活を心がけたいと思います。乱文失礼いたしました。ではでは。 益山 拝





第 16 回同門会テニス大会

三財病院 松本英裕

平成 25 年 11 月 23 日（勤労感謝の日）、快晴の下、第 16 回同門会テニス大会が開催されました。同門の先生は川野啓一郎先生（会長）、弓削孝雄先生、福田健二先生、神菌豊先生、尾田朋樹先生、松本の 6 名参加でしたが、他 2 名の協力参加者を含め、計 8 名でランダム式にペアを組み、ダブルス試合をほぼ総当たりになるよう計 8 試合行いました。けが人もなく無事終了しました。今年も接戦で、8 試合目での決着でした。試合終えて神菌先生と私が同点とな

り、規定で年上の方が優勝と決まっていたので、私の優勝となりました。久しぶりの優勝でしたので、正直大変嬉しく思っております。

メンバーが変わり映えせず、参加メンバーの平均年齢が高くなっておりませんが、私たちはテニスを楽しんでおります。年 1 回のテニス大会です。テニスの経験がある同門の先生方、毎年 11 月 23 日に開催しておりますので一緒に楽しみませんか。





麻雀大会について

宮崎市郡医師会病院 李 徳 哲

東京オリンピック開催決定や、田中将大投手の大活躍と渡米、浅田真央選手の感動のスケートティングと昨年度も多に日本のスポーツ面では華やかな記事が踊りました。我が同門会恒例の、読み・駆け引き・不屈の精神力が問われる卓上の祭典も無事とり行われました。各病院、同門の先生方との調整をしていただいた比嘉幹事に多大な感謝を申し上げます。学会や論文の準備からの現実逃避でネット麻雀を打ち込んだ成果(?)が出たためか、今回は初めて優勝させていただきました。運による要素が大きかったと自分でも恐縮しています。

浅田哲也、桜井章一、小島武夫らによって日本中が麻雀ブームに湧いたのも今は昔、石原都知事による歌舞伎町浄化作戦に始まり、日本津々浦々の麻雀店舗数も年々減少しています。実際に皆様の麻雀へのイメージはいかがでしょうか。ルールが難しい、時間がかかる、怖いおじさま達に身ぐるみ剥がれそう、などなどあるとは思いますが、それは麻雀のホンの一面です。断言しますが、麻雀はこの世で一番面

白いゲームです。136枚の牌が各人の手配、山のどこにどのように存在するのか、3人の相手は過去・現在・未来何を考えているのかを読み合う非常に高度な頭脳戦だと思います。これが日々お世話になっている諸先生方との日常の会話の中で行われ、非常に本会は楽しいものとなっています。

ここ最近では私の近い年代でも麻雀が打てる人間はごく限られており、忙しい仕事と合間って、なかなか卓を囲むことが難しくなっています。一度皆様本会に参加していただければその面白さが伝わると思います。そして宮崎での麻雀競技人口が増加し、気の合う仲間と時間が合えば麻雀ができる、そのような同門会になっていければと切に願います。

まだまだ整形外科医として駆け出して学ぶことだらけですが、日々麻雀の研鑽は怠らず、是非とも2連覇を達成したいと思います。そして深夜のひぜん屋で最高のおにぎり味噌汁が楽しみです。



野球検診報告 2013

石田 康行
帖佐 悦男
長澤 誠

野球は国民的スポーツで広く普及し、将来有望な多くの少年野球選手がいる反面、overuse等で野球肘となり野球を続けられないばかりか日常生活にも支障をきたす選手が出現しているのも事実です。野球肘の中でも上腕骨小頭離断性骨軟骨炎（小頭 OCD）は治療に長期間かかり、適切な治療が行われないと手術が必要となり障害が残存することがあります。しかし、小頭 OCD は早期発見すると、手術せず保存療法で障害なく治癒します。そのため、小学生の時期での野球検診は有効です。帖佐教授は全国規模で”子供に笑顔を野球傷害を防ごう”プロジェクトを立ち上げ、統一した野球検診の普及に努められています。その一環として宮崎でも 2010, より少年野球検診を行ってきました。2010 年 218 名、2011 年 330 名、2012 年 445 名の検診を行い、毎年その約 3% に小頭 OCD が発見されています。2013 年 12 月に今年度の少年野球検診を行いましたので報告させていただきます。

今年度 2013 年の参加者は宮崎県少年野球連盟に所属する希望者 540 名でした。

予防、教育のため選手、保護者に検診が必要な理由、野球肘の病態についての講義を受けてもらいました。

その後、今後の予防のためにコンディショニング指導を行い、診察、エコーの一次検診を行いました。



一次検診で二次検診該当者が出た場合は引率者、保護者に同意を得た後、即日二次検診を行いました。同意が得られなかった場合は近医への紹介状を作成しました。

一次検診異常者は 103 名 (19%) でそのうち二次検診即日受診者は 100 名 (97%) でした。我々の検診は、従来の試合会場で行う検診と異なり、できる限りその日に二次検診を行うので二次検診率が高いのが特徴です。二次検診受診者の異常部位は 85% が肘関節でした。その肘関節異常者の 75% は内側障害、23% は外側障害（小頭 OCD）、2% は後方障害でした。検診で見つかった小頭 OCD は 17 肘でその 16 肘は初期でした。1 肘のみが末期でした。少年野球障害で野球ができなくなったり、日常生活に支障をきたすのは小頭離断性骨軟骨炎の、進行情、終末期例であることから、検診は早期発見、早期治療に有用でした。

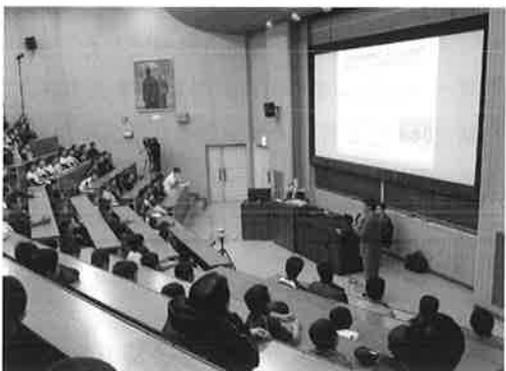
検診を行っても障害が減り、予防が各チーム

で行われなければなりません。われわれも機会を作り、野球障害の病態、予防に対する啓発、活動に力を入れています。各地域で同門の先生方のご協力よろしくお願いします。

小頭OCD発見後の適切な治療も重要です。できるだけ宮崎大学でfollowさせていただこうと思っていますが高千穂、延岡、えびの、串間など遠方から来院は現実的にむりがありま

す。各地域の同門の先生にお世話になりかと思えますがよろしくおねがいします。

今回も野球検診に御協力いただいた医局員、理学療法士、看護師、事務等有志の皆さんありがとうございました。同門の先生方で協力していただける先生は是非、宮崎大学整形外科にご連絡いただければ幸いです。





第 35 回九州手外科研究会 を終えて

宮崎大学 医学部 整形外科 矢野 浩明

2014年2月1日、「第35回九州手外科研究会」は167名の参加を頂き、盛会裏に終了することができました。

これも偏に多くの方々の御協力おかげだと心より感謝致します。同門会からも、多大なるご支援いただき誠にありがとうございました。

本研究会を開催する際に心懸けたことは、万全の準備をして、快適な環境を整え、会を円滑に進行することと、参加される方々に満足いくものを提供することでした。

研究会自体はたった1日ですが、準備は約2年前から始まっており、私自身医局長の任務終了と入れ替わるように準備が始まりました。事務の島田さんや田原さんの協力を得ながら、まずは研究会会場や特別講演者の宿泊ホテルの確保から始まりました。

2013年6月には、特別講演の講師を名古屋第一赤十字病院堀井恵美子先生に依頼をしました。突然のお願いにも関わらず、堀井先生は快く引き受けてくださり、私は電話の前で頭を下げるばかりでした。研究会の期間中は堀井先生とゆっくりお話することもできとても有意義な時間を過ごすことができました。もちろん、特別講演は大盛況だったのはいうまでもありません。

7月から正式に、第35回九州手外科研究会事務局が構成され、事務から島田さんと野口さんが加わり、3人体制で準備を進めることにな

りました。

二人がいてくれたおかげで、楽しく準備することができたのではないかと思います。事務局本部との連絡や各種文書作成、寄附や広告の募集や、会計管理など準備から3月末までかかった残務まで、的確且つ丁寧に取り組んでくれました。仕事の合間を見つけて何度となく行った打ち合わせも今では楽しい思い出です。

研究会が終わって安堵の気持も感じつつ、同時にこの事務局も解散を迎える寂しさもあり何ともいえない気分です。

7月29日には、日手会HPに研究会開催案内を掲載し、演題募集を始めました。募集をしたものの締め切り1週間前になっても応募は5演題だけで、やきもきしていたのですが、最終的に43演題の募集があり、ほっとしたものでした。

それから、座長や症例検討の討論者の依頼の電話を九州各地にかけ、12月中のプログラム抄録集の発行を目標にして、原稿の作成・校正や抄録のチェックなど急激に忙しい年末になりました。座長ならびに症例検討の討論者を引き受けていただきました先生方、本当にご苦勞様でした。

プログラム抄録集も無事12月中に発行することができ、その後の約1ヶ月は、会場の最終打ち合わせや当日の準備・役割分担など細かい点の最終確認や各担当への申し送りなど、本

番へ向けて準備を着々と進めていきました。医局員の皆さんならびに事務職員の方々そしてメーカーの方々には、前日の準備ならびに当日の進行や各役割を努めて下さり、本当にありがとうございました。

当日は、チョコレートも溶けてしまう程の2月とは思えないような暑い日でした。本番当日はあっという間に過ぎてゆき、世話人会から始まり、いつもながらの熱い討論が繰り広げられる一般演題・堀井恵美子先生の20年の反省か

らの未来へつながる手先天異常の特別講演・志保子先生も健闘した症例検討など、とても中身の濃い充実した研究会になったのではなかったかと思います。

本研究会は、多くの方々の御協力のおかげで無事に終えることができました。改めまして、本研究会に関わって下さいましたすべての皆様に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





第35回リハビリテーション 医学会・九州地方会開催報告

鳥取部 光 司

第35回日本リハビリテーション医学会九州地方会ならびに専門医・認定臨床医生涯教育研修会が2014年2月2日(日)、宮崎市民プラザオルブライトホールで開催されました。

午前の20題の一般演題に引き続き、午後からの教育講演では大江隆史先生(ロコモチャレンジ!推進協議会 副委員長、名戸ヶ谷病院 院長)に「ロコモ最新事情ー完全解説 ロコモパンフレット2013版」を、平岡崇先生(川崎医科大学リハビリテーション医学教室 准教授)に「嚥下障害のリハビリテーション」を、そして田中芳明先生(久留米大学医学部附属病

院 医療安全管理部 教授)に「医療安全の現状と課題 ー久留米大学病院における取り組みー」をご講演いただき、興味深い演題とご講演の相乗効果により大変充実した学会となりました。おかげさまで、(212名の)多数の参加者があり、これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝しております。

第35回リハビリテーション医学会・九州地方会会長
宮崎大学医学部整形外科学教室・リハビリテーション部

帖佐 悦男
実行委員一同





第 50 回宮崎県スポーツ学会 記念大会

田 島 卓 也

宮崎県スポーツ医学研究会は昭和 62 年 12 月 12 日に「スポーツに関する保健予防対策・診断・治療・リハビリテーションなどの確立を目指し、スポーツ医科学の研鑽ならびに会員相互の交流を図る」という目的の元に設立され、第 1 回研究会が田島直也初代会長の元に開催されました。本学会は年に 2 回の開催で、医師のみならず、リハビリ関係者、歯科医師、栄養士、運動指導者、教育者をはじめ多くの職種の参加者が各々の垣根を越えて色々な交流を図れる場です。時には参加者が 150 名を超えることもあり、現在までののべ

参加人数は 3976 名に達します。また、79 名もの講師の先生方に様々な分野からの特別講演を賜ってまいりました。第 33 回研究会より 2 代目会長として帖佐悦男教授が就任され、また宮崎県スポーツ医・科学研究会、宮崎県スポーツ学会と名称を変更し平成 26 年 3 月 9 日に記念すべき第 50 回の節目を迎えました。当日は晴天の日曜日の昼にもかかわらず 57 名もの参加者がありました。初代会長の

田島直也名誉教授より「我国におけるスポーツ — 歴史と展望 —」という演題名で特別講演を賜りました。スポーツの成り立ち、歴史から日本のスポーツ界、そして宮崎県のスポーツ界の現状と今後の展望について詳細に述べていただきました。また、本学会の設立にご尽力を賜ったことに感謝の意を込めて、功労賞を贈呈させていただきました。その後、帖佐悦男会長による本学会の 50 回のあゆみに関する講演に続いて参加者全員での祝賀会を開催いたしました。ここでも田島直也宮崎大学名誉教授、廣田彰宮崎大学名誉教授、佐藤勇夫宮崎県体育協会会長にご挨拶と祝辞をいただき、迫田隅男医学部長のご発声の元、盛大に祝賀会が執り行われました。本学会は 50 回を数えましたが、果たす役割と期待は大きなものがあり、その任務を十分に果たせてはおりません。今後も様々な職種の会員の力を結集させて、スポーツ選手の傷害予防そして競



技力向上にむけて励みたいと思います。今後
とも本学会に変わらぬご指導とご鞭撻のほど、
何卒よろしくお願い申し上げます。





MY JOURNEY TO THE LAND OF THE RISING SUN

**EDWIN SABAS RECTO J. HOMENA, PTRP, MD
PHILIPPINE ORTHOPEDIC CENTER**

My life at the University of Miyazaki Hospital, Miyazaki, Japan, began after finishing my orthopedic residency training in Manila, Philippines. Through the kind and generous efforts of the hospital's orthopedic department headed by Dr. Etsuo Chosa, I was given an extraordinary opportunity to become a fellow in the orthopedic department's Hip and Knee Arthroplasty Program.

To begin with, life in Miyazaki, Japan is a complete turnabout from life in Manila and from a tropical country like the Philippines. Miyazaki Prefecture is blessed to have the beauty of both worlds – gifted with lush beautiful mountains, a mild temperate climate and a scenic view of the Pacific Ocean, but at the same time, having a relaxed, yet highly urbanized capital city of the same name.

My chronicle about Miyazaki is not only a story about Japan, of a particular Prefecture or City, but most importantly, it's the story of the people that I encountered and worked with everyday. These are the people who I learned to respect and uphold, not only because they are my teachers or colleagues, but because of their patience, their humility, and the sense of

camaraderie they showed to me.

I commend them for their untiring dedication to their work and for their empathy to the patients they served. These are the also the people who dared to walk the extra mile, because of their innate passion to teach, inspire and nurture. Like the Orthopedic Tree of Nicolas Andry, we fellows and students are the “crooked young tree” and our teachers, the “supporting brace.” Without their wisdom and guidance, we would just end up being another “crooked tree” in the realm of orthopedics.

My experiences in Japan, in this city and university, will always be a trove of treasures and memories worth keeping forever. It opened my myopic view of Japan, and it made me discover in greater depth, the rich history of this nation, its colorful culture and the warm-heartedness of its people. Philippines will always be the land of my birth, but Japan and my colleagues, would certainly be my “second home” and my “second family” respectively.

Maybe, I can live without tasting a glass *sake*, without witnessing cherry blossom season in its finest or even without the welcome and

farewell parties, but nothing is more worthy and fulfilling than being with the company of these great but humble people. On behalf of my country and fellowmen, it was really an honor to be with the Japanese nation and to become

“one of them.” This writing is my tribute to all my mentors and colleagues in the University of Miyazaki Hospital – Orthopedic Department. Again, I would say, “*Kanpai!*” to all of you.





医局旅行報告

山口 洋一郎

2014年2月15日～16日と一番寒い中、医局旅行に行きました。医局旅行と言えば温泉！ということで目的地は湯布院となり、総勢21名のバスツアーです。

9:00に大学を出発し、適宜休憩をとりながら九州を北上、大分自動車道に入るとちらほら雪景色も見受けられ車内は徐々にテンションupしてきました。夕方には宿泊先に到着し各自部屋に荷物をおいての自由行動。雪化粧を纏った湯布院に興奮し、雪合戦を始めたいい歳の大人達……。楽しいことは良いことです♪。夜は恒例の〇〇や〇〇で皆さん遅くまで楽し

んでおられました。

翌日は寝不足と二日酔いのダブルパンチを受けながら湯布院の街を散策しました。残り少ない体力を節約しつつも、幻想的な景色を堪能し、美味しそうなモノを見つけては購入し、お土産を見つけては購入し、湯布院の経済活性化を促進すること数時間。皆さん荷物が大量に増えた状態で再度バスに乗車し、エネルギーを使い切った状態で帰宮しました。湯布院の温泉で日頃の疲れを癒すことができたように思います??



1年を振り返って



日整会スポーツ H25.9 (学生 優秀賞受賞)



大学院セミナー H25.9



日整会基礎 H25.10



市民公開講座 H25.10

市民公開講座
 運動器の10年 骨と関節の日
 ロボティクスとロボットを予防しましょう

ひびか骨と関節を考える会
 一動く喜び、動ける幸せ—
平成25年10月20日(日)
 10:00~12:00 入場無料
宮崎県総合保健センター
 3F 大講義室 (佐藤ホール1階2号)

講師 宮崎大学整形外科 稲垣 雅夫
 講師 宮崎大学理学療法士 稲垣 雅夫
 講師 「あなたの骨が丈夫な人です」 稲垣 雅夫
 講師 「正しい動きで関節を予防する」 ひらたけ 隆
 司会者 稲垣 雅夫

宮崎大学 運動器科 稲垣 雅夫

高次脳機能障害 市民公開講座

【日時】平成25年10月20日(日)
 14:00~16:30 (受付13:30)

【会場】宮崎県総合保健センター
 大講義室(3F) (佐藤ホール1階2号)
 会場予約: 098-833-1111

第1 (14:00~15:00)
 「私の脳梗塞〜当事者となった専門家の視点から〜」
 宮崎大学大学院医学研究科 脳神経科 関 裕子 先生

第2 (15:15~16:15)
 「高次脳機能障害に対する考え方とその治療
 〜注意障害を中心に〜」
 宮崎大学医学部付属病院 認知症診療科 稲垣 雅夫 先生



日本臨床スポーツ医学会 H25.10



木村先生米寿祝賀会 H25.12



野球検診 H25.12

工藤公康氏野球教室

聖徳大学 医学部附属病院では、「子どもに親しみやすい野球指導（プロコーチ）」を目的として少年野球指導者養成講座を開催いたします。本年度は「子どもの成長」を考えた指導者養成講座とさせていただきます。工藤 公康氏（元プロ野球選手）が野球指導と関わりながら子どもに寄り添いながら学びの機会を創ります。

日 時 平成28年 12月15日（日）14時05分～15時30分（野球指導終了後）

場 所 聖徳大学附属病院第105号館

内 容 1. 指導者としての責任と指導者としての心構え
2. 指導方法の紹介
3. 質問応答
4. 小学生へのメッセージ

対 象 野球指導者養成講座受講生、保護者、関係者
申し込み 無料にて記入の上、聖徳大学附属病院までFAXしてください。
期 間 12月15日（日）
料 金 参加費2,000円（税別）

お問い合わせ先 聖徳大学 広報課
TEL 0960-94-0887 / FAX 0960-94-2821
#800-6297-0278



医局旅行 H26.2



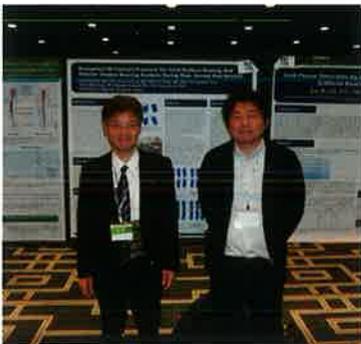
第35回九州手外科研究会 H26.2



第35回日本リハ九州地方会 H26.2



第50回宮崎県スポーツ学会記念大会 H26.3



ORS H26.3



お花見（天神山公園） H26.4.2



新規開業

野中隆史

宮崎県えびの市は熊本県、鹿児島県と隣接する宮崎県の南西部に位置します。えびの米ひのひかりに代表される農業、林業、畜産業、酒造業、南九州コカ・コーラボトリングが主な産業で夏は35度以上、冬はマイナス5度まで下がる寒暖の差が激しい地域です。韓国岳、えびの高原、えびの高原スケート場、白鳥温泉、クルソン峽、陸上自衛隊えびの駐屯地が有名で最近えびのインター近くにオープンした道の駅えびのも人気になってきました。九州自動車道と宮崎自動車道が交わる南九州の交通の中心になっています。

えびの市の人口は20199人で老年人口34.6%、病院数は当院を含め22所（うち整形外科は3所）、病院病床数246床、医師従事者数36人です。

私は医局からの出向でえびの市立病院の整

形外科に延べ9年近く勤務する機会を頂きました。その間たくさんの方のえびの市民の方と出会うことが出来ました。えびのの方たちは大変穏やかで明るく、とても親切に接して頂きました。そんな気候と人の好さに惚れえびの市での開業を決意し昨年8月1日に飯野地区原田に開院致しました。

毎年徐々に人口が減少しているえびの市ですが、医師数・病院数も減少傾向にあり病床数、介護施設もまだまだ足りない医療過疎地です。そんなえびの市でこれまで諸先輩方にご指導いただいた技術とお世話になった病院での経験を生かし少しでもえびの市民の健康年齢を上げれるように地域医療に貢献できればと思っています。

まだまだ若輩者ですので今後ともご指導ご鞭撻宜しくお願い致します。





開院のご挨拶

Mスポーツ整形外科クリニック 樋口潤一

平成2年田島直也教授ご就任の年に入局し23年半の医局生活から帖佐悦男先生のお許しを頂き昨年11月5日宮崎市太田町にMスポーツ整形外科クリニックを開院いたしました。場所は南宮崎駅前、鮮度市場（旧宮崎交通本社）近くにあり駅から徒歩5分、宮交シティバスセンターから徒歩10分弱という場所にあります。また高速道路の開通により延岡からも車で1時間程度で来られるようになったようです。

入局以来スポーツ選手の診療を中心に代表チーム帯同など現場に出ることが多かった私が開業することを決意するに至った理由としては、患者さんから「先生はいつ病院にいるんですか？」とよく聞かれていたことと、私が遠征帯同中にケガをした患者さんの診断や治療開始が遅れたことで復帰が遅れることがあったためです。スポーツのケガは早期の診断と適切な初期治療が出来ることで復帰もスムーズになります。そのためにも代表活動は引退（辞退）して自分が考える理想の環境を作ろうと考えました（実際、次のオリンピックチームの担当をとという話も頂いていました）。50歳にしてのスタートになりましたが、これにあたり整形外科医といいながら腫瘍やリウマチ、骨粗鬆症とはほぼ無縁な診療を10年以上続けていたこともあり堂々と整形外科を名乗ることに後ろめたさを感じスポーツ整形外科クリニックという名称にしました。

スポーツクリニックということで設計の段階で色々な工夫を凝らしてみました。待合室に学習スペース（待ち時間を有効に使ってもらうため）を5席準備し、診察・リハビリの移動に荷物を持たなくて良いように患者専用のロッカー（男女別）を作ったりしました（設計の段階では、どうしてこんな設備があるのですか？などの疑問の声も上がりましたが、結構利用されています。）。外観、内部の雰囲気も含めて病院らしくない作りになっており、スタッフウェアもロゴの入ったポロシャツにジャージでそろえました。リハビリ室には宮崎市内では初という反重力トレッドミルAlterGをリハビリ室に置き、アスリートの早期復帰に役立てています。

また選手の復帰のためには保険診療の範囲内のリハビリでは不十分（というよりアスレティックリハビリテーションは保険診療外であるという認識の元）と考え2階にはトレーナーが運営するトレーニング施設（会員制のパーソナルトレーニングを行う）を別に設けています。ファンクショナルトレーニングという機能的なトレーニングをトレーナーの指導の下にトレーニングを行いますので興味がおありな先生は是非体験に来て下さい。

さて11月にスタートしてやっと5ヶ月が経過しましたが、すでに様々な問題の数々に四苦八苦している状態です（やっぱり私は開業医

には向いていないのかなと今更ながらに思います)。ただ患者さんは周辺の学校(鵬翔高校、宮崎工業高校、宮崎西高校、宮崎南高校、大淀中、赤江東中、赤江中など)の学生さんや大淀地区の地域の方だけでなく北は延岡、西都・児湯地区、南は日南・串間、また都城・小林・えびの方面からも来院され、100番からスタートした診察券の番号もやっと1100番を超えました。手術も12月から始めた院内での日帰り手術が25件(うち鏡視下半月手術が14件)、関

連施設で行っている入院手術も15件と少しずつですが形ができてつあります。今後も来院されるすべての方の期待に応えられるような診療・治療環境を作るために(無理せずに)頑張っていきたいと思っておりますのでご指導・ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

ホームページ <http://www.msports.jp>



AlterG



待合室(学習スペース)



スタッフウェア



外観



開業にあたって

医療法人 結び葉 ゆげ小児科・弓削整形外科
副院長

弓削七重

昭和47年に父・弓削達雄が広島1丁目の地に弓削整形外科を開院した時、私は生後6カ月でした。それから40年余りの間、地域医療に携わってきた父が、勇退することになったため、小児科医である主人と共に「ゆげ小児科・弓削整形外科」として今年2月、同じ場所で新たに開院させていただきました。

父が開業した頃は、宮崎市内に整形外科の開業医の先生は片手で数えるほどしかおられず、ずいぶんと大変な思いをしたようです。私は、父が診療している姿を身近で見ながら育ちましたが、頻繁に救急車のサイレンが自宅横の病院の前で止んでいた記憶があります。夜間の急患を受けていた時期もあったそうです。また、麻酔の先生と助手の先生を招いて積極的に手術も行っており、術後は必ず母の手料理で宴会（私たち4人姉妹は子ども部屋に軟禁）がよく行われていました。

私は、自然と医師を目指す気持ちになって医学部を卒業し、整形外科を専攻しました。当時は、父と同じ診療科を、と考えたわけではありませんでした。しかし、宮崎に帰ってきて父の病院を手伝ったことや、今回、スムーズに後を継げたことで、やはり整形外科医になってよかったと感じています。

私は大学卒業後、長崎大学整形外科に入局し

て、長崎県内を中心に勤務していました。出産し、がむしゃらに働けなくなってから宮崎に帰ってきたので、ここ宮崎の教室に入局させていただいたものの、医局内の先生で顔見知りなのは、高校の同級生だった川野彰裕先生くらいで、会合に出席しても居場所がないと感じ、寂しい気持ちでした。

しかし、第3子を出産する前に1年ほど江南病院で勤務させていただいた時にお世話になった本部浩一先生や、江夏剛先生、福嶋秀一郎先生ほか諸先生方や、開業準備の際に親身に相談にのってくださった後藤啓輔先生と渡部正一先生、また、患者さんの紹介を介してお世話になった先生方など、少しずつ話することができる方が増えてきました。

実は、現在、医局内のどの先生が、どこの病院で、どんな手術をされているのか、あまりよく分かっていません。ここ数年は、育児にかなり重点を置いて生活していたので、勉強会などにあまり参加できていませんでした。もっとたくさんの先生方と親しくなりたいと思いますし、適切に患者さんを診療し、紹介させていただくためにも、これからはできるだけ出かけていきたいと思っています。すみませんが、よろしく願います。

整形外科医になり早くも丸18年が経つものの、育児との兼業期間が長かったため、開業医というにはおこがましいほど未熟ではありま

すが、地域医療に貢献できるよう、私なりに頑張っていきたいと思っています。

同門の先生方には、ご迷惑をおかけすることがあるかと思いますが、今後ともご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



賛助会員入会ごあいさつ



整形外科 賛助会員入会のごあいさつ

社会医療法人同心会 古賀総合病院 院長 **今村卓郎**

この度、宮崎大学医学部整形外科学教室同門会の賛助会員に加えていただくことになりました今村卓郎と申します。社会医療法人同心会古賀総合病院を代表して、整形外科学教室同門会に賛助会員として入会させていただきましたことに、お礼を申し上げます。私自身の専門は循環器内科であり、同門の先生方との接点は多くないかもしれませんが、何卒宜しくお願い申し上げます。

当院では昨年3月に整形外科の先生が退職された後、約8ヶ月の間、宮崎大学医学部整形外科学教室に外来のお手伝いをお願いして参りました。今年の1月、帖佐教授のお許しを得て、石原善三郎先生に常勤整形外科医として新規に着任していただき、現在当院の整形外科をお一人で切り盛りしていただいています。まだお若い先生ですが、外来業務や病棟業務に精力的に頑張ってください。当院では昨年8月までに集中治療室（HCUとしての対応ですが）が完成し、救急外来を含む内科・外科・整形外科外来、生理検査室や受付のリニューアルと産婦人科病棟、コンビニ、軽食喫茶などを含む新東棟の工事が終了しました。患者さんやそのご家族により満足していただける体制づくりに努力しています。

古賀総合病院が地域医療支援病院の認定を受けてから約3年、同心会が医療法人から社会医療法人への移行を承認されてから約1年半になります。地域医療支援病院として地域に貢献できる病院を、そして社会医療法人として社会に信頼される法人を目指していきたいと思っています。今後ますます先生方にはご指導、ご支援を賜りますよう、重ねて宜しくお願い申し上げます。



私と“手外科”

渡辺整形外科 牧 信哉

福岡糸島 渡辺整形外科で働いている 牧 信哉 です。

今回、宮崎大学医学部整形外科学教室同門会に賛助会員として入会することになりましたので宜しくお願いします。

私は昭和 55 年に鹿児島大学医学部整形外科に入局しましたが、その当時から“手外科”志望でした。小学生の頃の工作から始まり、中学校からは、プラモデル、中でも特に古い飛行機、複葉機、三葉機 (Red Baron と呼ばれたりヒトフォーヘン男爵が乗っていた Fokker Dr-I など) … が大好きで、長崎市周辺の模型店はほとんど回っていました。高校に入ってから、今度は帆船に興味を持ち、より難しいモデルシップ作りに一生懸命になり、一時期は神戸商船大学 (現在の海洋大学) を志望しましたが、運動神経のなさ、近視が進行した等々で、祖父、父ともに内科医だったせいもあり、医学部に入学しました。

卒業が近くなると、どこに入局するか? ということになりますが、どう考えても内科という柄でもなく、外科系のどこか? 工作、プラモデルのつながりから自然と整形外科に入局しました。

入局した頃の鹿児島大学整形外科は脊椎外科が主流でしたが、精密な動きをして感情を伝える事が出来る (tactile gnosis ; 好きな女の子の手を握ったらドキメク、あの感覚です。) 手に興味を持つ様になりました。

大学院に進んで“骨の電気刺激”の論文を仕上げたあと、酒匂教授に無理を言って、その頃“手 (の) 外科”の権威であった故田島達也教授がいた新潟大学整形外科で 1 年間の Hand Fellow として私の Hand Surgeon の生活が始まりました。その頃の新潟大学整形外科手外科には田島教授をはじめ、斎藤英彦先生、吉津孝衛先生など手の専門家があり、日本、外国の医療機関から色んな Hand Surgeon が見学や研修に来ており、1 日中手ざんまいでこの時程勉強した時期はないと思います。勉強以外にも新潟にはスキーツアーや佐渡島キャンプなど… 沢山の楽しい思い出がたくさんあり、新潟は私にとって忘れられない町になりました。

新潟での 1 年研修のあと、鹿児島の今給黎病院でおっかなびっくりの私流 Hand Surgery が始まり、replantation, free flap, toe joint graft, brachial plexus injury への intercostal N crossing … などこわ

いものしらずで手術をしてきました。そして、この病院で2年位仕事した頃、Mayo Clinic の“carpal instability”の論文を読んで、どうしても行ってみたいくなり、Mayo Clinic に伝手がない私は、自分で自分の推薦状を書いて先輩 Dr にサインしてもらって送ったり、知り合いのまた知り合いの Mayo Clinic に留学していた内科 Dr を通して整形外科の Dr を紹介してもらったりして、ようやく最初は3ヶ月の Visiting Clinician として憧れの Mayo Clinic に行く事が出来ました。初日の morning conference で、私達世代の Hand Surgeon にとって神様であった故 Dobyns 先生や故 Linsheid 先生に会えた感動は今でも忘れる事が出来ません。3ヶ月を1年に延長してもらい、世界中からの色んな Hand Surgeon をはじめ、色んな人達と会って、仕事をして話が出来た事は私の財産だと思っています。

その後、鹿児島～福岡へと仕事の場所は変わりましたが、一貫して考える事は自分の仕事としては Hand Surgery しかないという事です。いままで Hand Surgery を通して、自分として誇りのある生涯を送ってこれた事を感謝するとともに、あともう少しやってみようと考えておりますので宜しくお願いします。

(文責 牧 信哉)

賛助会員入会ごあいさつ



賛助会員入会 ご挨拶

甲斐睦章

「リウマチ診療を第一線で」を目標に2013年6月1日に宮崎神宮で開院いたしました。

宮崎大学医学部整形外科教室同門会賛助会入会の許可をいただきました帖佐教授を始め同門の先生方に深謝いたします。

クリニックの北側には宮崎神宮、西側には県立図書館、芸術劇場があり、素晴らしい環境の中で診療を行わせていただいております。

私は昭和37年に延岡市で生まれました。大瀬川の鮎を食べて育ち、城山の鐘を聞きながら、行滕おろしの風に負けることなくチャリ通で延岡西高校に通い、宮崎医科大学を昭和63年に卒業しました。

卒業後は、九州大学整形外科学教室に入局することになり、九州大学関連病院で研修を行いました。関連施設を1年ごとに回っておりましたが、近藤正一先生との出会いでリウマチの基本・診療から人工関節手術に至るまで本当に沢山のことを教えていただきました。平成9年には潤和会記念病院



外観とスタッフ

の大野和男理事長にお誘いいただき、潤和会記念病院に赴任し、同院で16年間、関節外科とリウマチ診療を中心に取り組んで参りました。この間、宮崎大学医学部整形外科教室同門会の先生、潤和会記念病院の先生方、九州大学整形外科教室の先生方には本当の多くのご指導いただき、たくさんの臨床経験を積むことが出来ました。この16年間は私にとって掛け買いのない財産となりました。

同門会入会にあたり、これまで多くの方々に支えられてここまで来られたことを決して忘れることなく、地域医療におけるクリニックとしての役割（リウマチ診療を第一線で）を存分に果たしていく所存であります。

これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



待合室



院長とバイク

新入会員自己紹介（正会員）



名 前：谷 口 昇

生年月日：昭和45年4月2日

出身高校：鶴丸高校

出身大学：鹿児島大学

昨年7月より宮崎大学整形外科に入局させて頂いております。平素は同門会の皆様にご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。宮崎は父（谷口良康、大宮高校出身）の出身地であり、また清武出身の祖父（谷口奈良治）が戦前より大淀川畔で外科病院を開業していた縁のある土地です。

私は鹿児島県立鶴丸高校を卒業した後、平成7年鹿児島大学医学部卒業、その後麻酔蘇生科、整形外科に所属し、平成15年同大学院医学研究科を修了しました。その後研究をさらに発展すべく、米国カリフォルニア州サンディエゴにあるスクリプス研究所にポスドクとして留学し、その後正職員（Staff Scientist）として勤務し、軟骨変性の病因とその再生について研究して参りました。しかしながら、研究者として働きながらも、原点である医師に戻りたいという思いも捨てきれずにいて、その葛藤に苛まれ続けていたのですが、米国での仕事が順調かつ生活が心地よかったせいもあり、今一步踏み出せずにおりました。

そんなときに、南カリフォルニア鹿児島県人会の知人宅でのパーティーで、ハリウッドのメイキャップアーティストをされているカオリ・ナラ・ターナーさんとお話する機会がありました。彼女が渡米してからの挫折の数々、足を怪我してトップダンサーの夢をあきらめ、その後に現職で名声を得るまでの話を色々と聞かせて頂き、最後に私に言われた「今より大きい山に登るためには、今いる山を下りる勇気を持たないとだめ」この一言が、帰国して再び整形外科医に挑戦するきっかけとなりました。

その後、北海道帯広市の一般病院に勤務し、外傷全般を学びながら、同病院の理事であり肩関節外科の第一人者である末永直樹先生のフェローとして、函館から網走まで北海道中の病院を附いて回り、手術助手を勤める生活を2年間送った後に、10年半ぶりに南九州に戻って参りました。

大学では救命救急センター助教として、またスポーツ上肢グループの一員として、肩関節並びに上肢一般を担当しております。臨床医療に従事しながら、これまで学んで来た基礎研究の分野でも教室に貢献し、またこれまでの自分の経験と知識を教室の若い人に伝えて、世界を目指す気概のある人たちの背中を押してあげたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します。

新入会員自己紹介（正会員）



名 前：今里 浩之

生年月日：昭和62年12月21日

出身高校：長崎県立 大村高校

出身大学：宮崎大学

初めまして。新入局員の今里浩之と申します。

私は、長崎県の大村市出身で、県立大村高校から、宮崎大学医学部へ入学しました。高校時代からラグビーをしており、大学でもラグビー部に入部しました。ラグビーは色々な事を教えてくれました。仲間と同じ目標に向かって努力する面白さと難しさ、毎日の積み重ねが結果につながる現実、筋肥大の喜び、ハムストリングスの肉離れ、思春期の clavicle band の恥ずかしさ、鎖骨骨折の手術介入、radiculopathy の何とも言えない痺れと痛み、擦過傷の創傷治癒、尿道バルーンの灼熱感。そんなラグビー経験も関係し、整形外科に興味をもちました。ちなみに得意プレーは我が身を削り相手は削らない自殺的なタックルと愛のこもっていないパスでした。よろしくお願ひ致します。

話はそれでしたが、大学卒業後、宮崎大学の卒後臨床研修センターで2年間研修を行いました。2年間のうち2ヶ月しか大学の整形外科は選択しませんでした。当直や救急ローテート中に整形外科のあまりの患者さんの多さと重要さを痛感しました。さらに帖佐先生や大学の先生方の熱烈な勧誘に加え、ラグビー部の大先輩方、また大学時代に仲良くさせて頂いた先輩が猛烈に誘って下さいました。また、研修2年間でローテートさせて頂いた、県立延岡病院、県立日南病院、こども療育センター、江南病院の先生方の激烈な勧誘で、宮崎大学で整形外科医として1歩を踏み出すことにしました。大学に受験するまで宮崎県には足を踏み入れたこともなく、現在こうやって宮崎大学整形外科へ入局するとは夢にも思いませんでした。お声をかけていただいた先生方には、本当に感謝しております、ありがとうございます。

これからは毎日疑問を持って、一所懸命頑張っていく所存です、ご迷惑をおかけする事も多々あるとは思いますが、ご指導ご鞭撻の程、何卒よろしくお願ひ致します。



名 前：齊藤 由希子

生年月日：昭和59年5月19日

出身高校：大宮高校

出身大学：鹿児島大学

齊藤 由希子です。沖縄で研修していましたが、宮崎に帰ってきました。海が好きで、沖縄ではスキューバダイビングをしてました。最近サーフィンをはじめました。仕事も勉強も好きですが、体をうごかすことも大好きです。しっかりがんばります。よろしくお願ひします。



名 前：平川 雄介

生年月日：昭和59年11月9日

出身高校：宮崎西高校

出身大学：藤田保健衛生大学

今年度入局させていただきました平川雄介です。なれないことも多く毎日大変ですが一所懸命がんばっていききたいと思っております。よろしくお願ひします。足が治ればサッカーもがんばります。



名 前：横江 琢示

生年月日：昭和61年6月26日

出身高校：愛知県立 明和高校

出身大学：宮崎大学

初めまして、横江琢示です。これからよろしくお願ひいたします。趣味はサッカー、筋トレ、油絵などです。少しでも早く一人前の整形外科医となれるように精進していきたくて考えておりますので今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひいたします。

同門会総会 議事報告

平成26年度総会:平成25年12月19日(土)16:30~17:00 宮崎観光ホテル

1. 平成25年度(H24.10/1~H25.9/30)報告

(1) 会 員 状 況 (平成25年9月30日現在)

正会員 : 160名、賛助会員 : 46名

(2) 入 会 ・ 退 会

正 会 員 入 会 岡村 龍 先生 (平成25年 4月 1日付)

谷口 昇 先生 (平成25年 7月 1日付)

賛助会員入会 松山順太郎 先生 (平成24年12月 8日付)

今村 卓郎 先生 (平成25年 4月13日付)

牧 信哉 先生 (平成25年12月19日付)

甲斐 睦章 先生 (平成25年12月19日付)

物 故 会 員 小牧 一磨 先生 (平成24年10月18日)

百瀬 寿之 先生 (平成25年 2月12日)

田邊 龍樹 先生 (平成25年11月28日)

結 婚 永井 琢哉 先生 (平成24年10月 7日)

開 業 村田 潔 先生 (平成24年10月 1日)

福元 洋一 先生 (平成25年 1月21日)

野中 隆史 先生 (平成25年 8月 1日)

(3) 事 業 報 告

H24年10月24日(水):第1回役員会(年度始め)「ホテルメリージュ マンダリン」

11月28日(水):第2回役員会「ホテルメリージュ マンダリン」

11月23日(祝):第15回同門会テニス大会(優勝:弓削孝雄 先生)

12月 8日(土):第3回役員会・総会・講演会・忘年懇親会「宮崎観光ホテル」

第8回同門会マージャン大会(優勝:松山順太郎 先生)

12月 9日(日):第21回同門会ゴルフ大会(優勝:森田信二先生)

12月 :同門会名簿・会則発行

H25年 4月13日(土):第4回役員会、新入生歓迎会「観光ホテル」

(4) 教 室 支 援 (留学、学会等)

H25年 5月 日整会野球大会

事務委託費・事務人件費

(5) 会 計 報 告

平成25年度決算は監査報告があり総会にて承認された。

2. 平成26年度(H25.10/1～H26.9/30)事業計画・予算

- (1) 平成26年度の予算案は総会(H25.12/7)にて承認された。
- (2) 役員会開催 第1回役員会(平成25年10月3日、ホテルメリージュ)
第2回役員会(平成25年10月28日、ホテルメリージュ)
第3回役員会(平成25年12月7日、宮崎観光ホテル)
第4回役員会(平成26年4月19日、宮崎観光ホテル)
- (3) 講演会：H25.12/8
講演『毎日の臨床に役立つ”手外科“の知識』
渡辺整形外科病院 院長 牧 信哉 先生
- (4) 奨励賞(第8回)：H25.12/7 受賞
 - ① 吉川 教恵 先生『Heatshockprotein90によるインスリン受容体
シグナル分子の調節～関節リウマチへの興味的一步』
 - ② 船元 太郎 先生『可変型遺伝子トラップ法で作製した Nedd4 欠損マウスは
骨量減少を示す』

*授賞式および講演は平成26年4月19日の新入医局医員歓迎会で実施予定
- (5) 親睦行事：平成25年11月23日(祝)：第16回同門会テニス大会
平成25年12月7日(土)：第9回同門会マージャン大会
平成25年12月8日(日)：第22回同門会ゴルフ大会
- (6) 同門会会則名簿発行：平成25年12月
- (7) 同門会誌25号発行(平成26年5月)
*テーマ「幸せを感じるとき」
- (8) 新入医局員歓迎会(第4回役員会)：H26.4/19(宮崎観光ホテル)
- (9) 教室支援(留学、学会など)：日整会野球大会、日整会サッカー大会

3. その他

- (1) 平成26年度(H25.10/1～H26.9/30)
田島 直也 先生 喜寿祝賀会：H26.9.23(祝)
同門会総会予定：H26.11.29(土)

教室同門の研究業績

◆著 書

1) 骨壊死、骨端症

帖佐悦男

NEW エssenシャル 整形外科

医歯薬出版, p280-287, 2012, 5

2) ナイト型装具 (Knight orthosis)

帖佐悦男

脊椎装具に強くなる Basics & Topics

三輪書店, p103-109, 2012, 5

3) ミルウォーキーブレイス (Milwaukee brace)

黒木浩史, 田島直也

脊椎装具に強くなる Basics & Topics

三輪書店, p44-52, 2012, 5

4) 小児期における運動器障害の予防

中村耕三, 帖佐悦男 他

ロコモティブシンドローム

メディカルレビュー社, p333-338, 2012, 7

5) 人工股関節の手術後の疑問点についてお答えします

帖佐悦男

人工股関節がよくわかる本

公益財団法人 日本股関節研究振興財団, 5章, 2012, 8

6) クエスチョン・バンク

帖佐悦男

メディックメディア, 2012, 10

◆原 著

- 1) 回復期リハビリテーション病棟の役割と問題点
—大腿骨近位部骨折患者の認知・歩行評価を通して—
小牧 亘, 松元征徳, 本部浩一, 益山松三
宮崎県医師会医学会誌, 34(1): p 31-36, 2010, 7
- 2) 変形性膝関節症に対する運動療法
帖佐悦男
Bone Joint Nerve, 2(1): p 91-97, 2012, 1
- 3) Nonlinear stress analysis of the supraspinatus tendon using three-dimensional finite element analysis
Atsushi Inoue, Etsuo Chosa, Keisuke Goto, Naoya Tajima
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy, 20(1), 2012, 1
- 4) Adrenomedullin Concentration in the Cerebrospinal Fluid in Patients with Spinal Disease-Especially Adrenomedullin Production from Schwannoma-
Hamanaka H, Hiroshi K, Hiroaki H, Chosa E
Journal of Spine Research, 3(2): p 140-143, 2012, 2
- 5) ロコモティブシンドロームの基礎疾患としての変形性関節症～虚弱 (Frailty) との係わりも含めて～
帖佐悦男
CLINICAL CALCIUM, 22(4): p 49(503)-57(511), 2012, 3
- 6) Significance of hanging total spine x-ray to estimate the indicative correction angle by brace wearing in idiopathic scoliosis patients
Hiroshi Kuroki, Naoki Inomata, Hideaki Hamanaka, Etsuo Chosa, Naoya Tajima
Scoliosis, 7(8), 2012, 3
- 7) Arthroscopic anatomical double-bundle anterior cruciate ligament reconstruction for Asian patient using a bone-patellar tendon-bone and gracilis tendon composite autograft: a technical note
Takuya Tajima, Etsuo Chosa, Keitarou Yamamoto, Nami Yamaguchi
Sports Medicine, Arthroscopy, Rehabilitation, Therapy & Technology, 4(9), 2012, 3

- 8) Single-group study to explore the optimal management of neuropathic scoliosis caused by neural axis abnormalities based on its clinical features

Hiroshi Kuroki, Naoki Inomata, Hideaki Hamanaka, Etsuo Chosa, Naoya Tajima
The Open Spine Journal, 4 : p 28-33, 2012, 4

- 9) 膝複合靭帯修復・再建術症例の検討

田島卓也, 山本恵太郎, 石田康行, 山口奈美, 崎濱智美, 帖佐悦男
JOSKAS, 37 : 126-127, 2012, 4

- 10) 変形性股関節症の原因としての股関節インピンジメント
(Femoroacetabular Impingement : FAI) の概念と治療

帖佐悦男
臨床整形外科, 47(4) : p 307-314, 2012, 4

- 11) 80歳以上の脊椎疾患の治療戦略 当科における超高齢者の頸椎手術の術後成績

濱中秀昭, 黒木浩史, 猪俣尚規, 増田寛, 黒木修司, 菅田耕, 樋口誠二,
川野啓介, 李徳哲, 帖佐悦男
Journal of Spine Research, 3(5) : p 761-764, 2012, 5

- 12) ラグビー競技会における医療体制向上と重症事故発生予防を目的とした安全度評価法の活用

田島卓也, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 中村嘉宏, 山口奈美, 柏木輝行
日本整形外科スポーツ医学会雑誌, 32(2) : p 35-40, 2012, 5

- 13) Posterior occipito-axial fixation applied C2 laminar screws for pediatric atlantoaxial instability caused by Down syndrome: Report of 2 cases

Hiroshi Kuroki, Shinichiro Kubo, Hideaki Hamanaka, Etsuo Chosa
International Journal of Spine Surgery, 6 : p 210-215, 2012, 6

- 14) 当科における体外衝撃波治療の経験

河原勝博, 帖佐悦男, 崎濱智美, 長澤誠, 川野啓介, 永井琢哉, 宮元修子
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 1-2, 2012, 6

- 15) 人工膝関節置換術におけるトラネキサム酸を用いたドレーンクランプ法の経験

梅崎哲矢, 浪平辰州, 上通一師
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 3-4, 2012, 6

- 16) 両側外側円板状半月板に合併した両側大腿骨離性骨軟骨炎の一例
栗原典近, 市原久史, 公文崇詞, 甲斐系乃, 福田一, 比嘉聖, 山口奈美
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 19-20, 2012, 6
- 17) 肘関節部脂肪腫による後骨間神経麻痺を呈した1例
吉川大輔, 園田典生, 田邊龍樹, 矢野浩明, 帖佐悦男
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 27-28, 2012, 6
- 18) 最近当科で経験した、大腿骨転子部骨折に対する髓内釘トラブル2症例
浪平辰州, 上通一師, 梅崎哲矢
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 41-42, 2012, 6
- 19) Menisco Capsular Separation に対する鏡視下半月縫合術の検討
小島岳史, 花堂祥治, 矢野良英, 柏木輝行, 田島卓也, 帖佐悦男
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 43-44, 2012, 6
- 20) 関節リウマチにおける強直肘に対して切除関節形成術を行った1例
坂田勝美, 税所幸一郎, 吉川教恵
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 11-12, 2012, 6
- 21) 恥骨上枝単独骨折で大量出血をきたした1例
福元洋一, 河野雅充, 深尾悠, 森治樹
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 25-26, 2012, 6
- 22) 上腕骨顆上骨折後の内反肘に生じた遅発性尺骨神経麻痺の1例
川添浩史, 深野木快士
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 35-36, 2012, 6
- 23) Ponseti 法による先天性内反足の短期治療成績
川野彰裕, 柳園陽一郎, 門内一郎
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 39-40, 2012, 6
- 24) 腰椎分離症に対して分離部修復術を施行した1例
村上恵美, 田島直也, 久保紳一郎, 井上篤, 野崎正太郎, 弓削孝雄, 後藤啓輔
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 49-50, 2012, 6

- 25) 橈骨遠位端骨折に対する掌側プレート固定術後に生じた長母指伸筋腱断裂の1症例
桐谷力, 安藤徹, 山口志保子, 池尻洋史
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 57-58, 2012, 6
- 26) 変形性膝関節症に対する高位脛骨骨切り術の治療成績
松岡知己, 大倉俊之, 三橋龍馬
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 61-62, 2012, 6
- 27) 人工股関節及び人口膝関節置換術後の周囲骨折の治療経験
黒沢治, 酒井健, 内田秀穂
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 65-66, 2012, 6
- 28) 変形性膝関節症に対する 単顆型片側人工関節置換術 (UKA)
川添浩史, 深野木快士
宮崎整形外科懇話会論文集, (16) : p 71-72, 2012, 6
- 29) 鏡視下腱板修復術後における吸収性アンカー孔の拡大
石田康行, 山本恵太郎, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男
JOSKAS
37(3) : p 391-394, 2012, 6
- 30) 脳性麻痺片麻痺患者に対するボツリヌス療法前後の歩行分析評価
川野彰裕, 帖佐悦男, 柳園賜一郎, 門内一郎, 勝寫葉子, 渡邊信二
日本小児整形外科学会雑誌 21(1) : p 101-105, 2012, 6
- 31) 関節リウマチ膝滑液包炎にリンパ管腫を合併した1例
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎
日本関節病学会誌, 31(2) : p 147-151, 2012, 7
- 32) Effect of genu recurvatum on the anterior cruciate ligament-deficient knee during gait
Katsuhiko Kawahara, Tomohisa Sekimoto, Shinji Watanabe, Keitaro Yamamoto,
Takuya Tajima, Nami Yamaguchi, Etsuo Chosa
Knee Surgery, Sports Traumatology, Arthroscopy, 20(8) : p 1479-1487, 2012, 8

- 33) Menisco Capsular Separation に対する鏡視下半月縫合術の検討
小島岳史, 花堂祥治, 矢野良英, 柏木輝行, 塩崎猛, 田島卓也, 帖佐悦男
九州・山口 スポーツ医・科学研究会誌, 24 : p 89-92, 2012, 8
- 34) 鏡視下腱板修復術後の腱板修復状態と可動域推移の関係
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 大田智美, 中村志保子
肩関節, 36(2) : p 511-514, 2012, 8
- 35) 宮崎県における関節リウマチに対する生物学的製剤の使用実態調査 ～第1報～
梅北邦彦, 濱田浩朗, 岡山昭彦, 日高利彦, 甲斐陸章, 上田章, 税所幸一郎, 村井幸一,
大平卓, 松山幹太郎, 坂田師通, 佐々木隆, 岡本将幸, 安藤徹, 秋元正樹, 首藤敏秀,
黒沢治, 田中弦一, 松本英裕, 吉永一春, 谷口博信, 福田健二, 川野啓一郎, 木屋博昭,
市原正彬, 谷嶋満, 佐保修二, 宮本義明, 帖佐悦男
宮崎県医師会医学会誌, 36(2) : p 172-180, 2012, 9
- 36) 頸椎椎弓形成術手術創に対するダーマボンド[®] HV の使用経験
増田寛, 黒木浩史, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 樋口誠二, 川野啓介, 李徳哲, 帖佐悦男
整形外科と災害外科, 61(3) : p 506-508, 2012, 9
- 37) 手術適応厳選前後の鏡視下腱板修復術の成績
石田康行, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美,
中村志保子, 帖佐悦男
整形外科と災害外科 別冊, 61(3) : p 346-349, 2012, 9
- 38) 学校における運動器検診の役割と実際 —宮崎県の場合—
帖佐悦男, 山本恵太郎, 山口奈美
臨床スポーツ医学, 29 : p 15-21, 2012, 9
- 39) アナトミカル型セメントレス・ステムにおける荷重伝達様式の術後評価
～術前・術後 CT 画像に基づいた患者別有限要素解析～
山子剛, 帖佐悦男, 趙昕, 鳥取部光司
臨床バイオメカニクス, 33 : p 271-278, 2012, 10
- 40) Anterior cruciate ligament reconstruction in a patient with Athetoid cerebral palsy : a case report
Tajima T, Chosa E, Yamamoto K, Yamaguchi N, Watanabe S and Kawahara K
SPORTS MEDICINE ARTHROSCOPY REHABILITATION THERAPY
TECHNOLOGY, 2012, 10

- 41) 骨端線閉鎖後の脳性麻痺股関節亜脱臼に対する臼蓋形成術を併用した手術的治療経験
柳園賜一郎, 川野彰裕, 門内一郎
日本脳性麻痺の外科研究会誌, Vol 22: p 133-138, 2012, 10
- 42) TSB 下腿義足と PTB 下腿義足の接触圧力解析
鳥取部光司, 帖佐悦男, 趙昕, 山子剛, 渡邊信二, 鄧鋼
臨床バイオメカニクス, 33 : p 423-426, 2012, 10
- 43) 有限要素法による人工股関節置換術のバイオメカニクス研究
山子剛, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 趙昕, 坂本武郎
整形・災害外科, 55 (11) : p 1365-1374, 2012, 10
- 44) 当科側弯症外来における脊柱側弯症初診時進行例 —初診時 Cobb 角 50° 以上の症例での検討—
黒木浩史, 猪俣尚規, 帖佐悦男, 田島直也
Journal of Spine Research 3(11) : p 1426-1429, 2012, 11
- 45) 脊柱側弯症に対する後方矯正固定術における instrumentation failure の検討
黒木浩史, 猪俣尚規, 濱中秀昭, 増田寛, 樋口誠二, 川野啓介, 李徳哲, 帖佐悦男
Journal of Spine Research, 3(12), p 1604-1609, 2012, 12
- 46) 変形性膝関節症に対するヒアルロン酸製剤の維持投与療法の有効性
—前向き多施設共同比較試験—
廣瀬隼, 水田博志, 片岡晶志, 津村弘, 渡邊信二, 帖佐悦男
整形外科, 63(13) : p 1321-1326, 2012, 12
- 47) Heberden 結節に合併した粘液嚢腫に対する嚢腫茎・骨棘切除法の成績
高見博昭, 麻生邦一
日本手外科学会雑誌, 29 (3) : 264-266, 2012, 12

◆総 説

- 1) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第14回 膝関節痛
山口奈美, 帖佐悦男
臨床整形外科, 47(1): p 81-83, 2012, 1
- 2) リウマチ患者と運動器の10年 ロコモティブシンドローム(ロコモ)とは
帖佐悦男
流, (286): p 5-8, 2012, 1
- 3) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第15回 下腿の痛み
川添浩史, 帖佐悦男
臨床整形外科, 47(2): p 139-142, 2012, 2
- 4) ロコモティブシンドロームとロコモコール-家族・地域が支える超高齢社会-
帖佐悦男
日経BP社, 2(531): p 153-155, 2012, 2
- 5) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第16回 膝関節痛
田島卓也, 帖佐悦男
臨床整形外科, 47(3): p 245-247, 2012, 3
- 6) 研修医のための見逃すと困る整形外科疾患 序文
帖佐悦男
関節外科, 基礎と臨床, 31(4月増刊号): p 1, 2012, 4
- 7) Parkinson病, 脊髄小脳変性症
鳥取部光司, 帖佐悦男
関節外科, 基礎と臨床, 31(4月増刊号): p 56-58, 2012, 4
- 8) 多発性硬化症
鳥取部光司, 帖佐悦男
関節外科, 基礎と臨床, 31(4月増刊号): p 53-55, 2012, 4
- 9) 人工関節置換術後の感染
坂本武郎
関節外科, 基礎と臨床, 31(4月増刊号): p 80-81, 2012, 4

10) 脳性麻痺

柳園賜一郎

関節外科, 基礎と臨床, 31(4月増刊号): p 40-42, 2012, 4

11) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第17回 腰椎

濱中秀昭, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(4): p 379-381, 2012, 4

12) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第18回 足関節部痛

小島岳史, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(5): p 453-456, 2012, 5

13) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第19回 臀部痛

三橋龍馬, 松岡知己, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(6): p 581-584, 2012, 6

14) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第20回 大腿部

河原勝博, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(7): p 655-658, 2012, 7

15) 障害者競技スポーツの医学的支援

鳥取部光司, 帖佐悦男

JOURNAL OF CLINICAL REHABILITATION, 21(8): p 758-761, 2012, 8

16) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第21回 膝関節

山口奈美, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(8): p 799-813, 2012, 8

17) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第22回 腓脛部痛

川添浩史, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(9): p 881-884, 2012, 9

18) 序文

帖佐悦男

関節外科, 基礎と臨床, 31(10月増刊号): p 3, 2012, 10

19) 疲労骨折

園田典生

関節外科, 基礎と臨床, 31(10月増刊号): p 376-381, 2012, 10

20) 特集 知っておきたい骨折の治療手技 introduction

帖佐悦男

関節外科, 基礎と臨床, 31(10): p 7-8, 2012, 10

21) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第23回 上肢帯・体幹部

田島卓也, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(10): p 1001-1003, 2012, 10

22) 骨粗鬆症治療の話題

渡邊信二

宮崎県内科医会誌, 82: p 34-42, 2012, 10

23) さまざまな関節痛を診断し、治療するー予防の視点でロコモティブシンドロームも含めてー

林泰史, 松田秀一, 帖佐悦男, 田中栄

日医雑誌, 141(8): p 1673-1686, 2012, 11

24) 股関節疾患を専門医に紹介するタイミング、手術法・長期成績

帖佐悦男

日医雑誌, 141(8): p 1712-1716, 2012, 11

25) 学校における運動器検診の役割と実際

帖佐悦男, 山本恵太郎, 山口奈美

日州医事, 11(759): p 72-74, 2012, 11

26) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第24回 頸椎

濱中秀昭, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(11): p 1103-1106, 2012, 11

27) 成長期のスポーツ外傷・障害と落とし穴 第25回 足関節部痛

小島岳史, 帖佐悦男

臨床整形外科, 47(12): p 1229-1231, 2012, 12

◆学会報告

- 1) 麻痺性踵足に対する前脛骨筋後方移行術の3次元歩行分析評価
川野彰裕, 帖佐悦男, 柳園賜一郎, 門内一郎
第28回九州小児整形外科集談会, 2012, 1, 福岡
- 2) 透析アミロイドーシスによる小指DIP関節に発症した破壊性骨関節症と思われる一例
高見博昭, 麻生邦一
第33回九州手の外科研究会, 2012, 2, 沖縄
- 3) BTBと薄筋腱を併用した2重束ACL再建術の臨床成績
田島卓也, 山本恵太郎, 河原勝博, 山口奈美, 帖佐悦男
第38回九州膝関節研究会, 2012, 3, 福岡
- 4) 膝前十字靭帯解剖学的二重束再建術における再断裂症例の検討
山口奈美, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 帖佐悦男
第38回九州膝関節研究会, 2012, 3, 福岡
- 5) 関節エコーと実際の滑膜所見
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎
第43回九州リウマチ学会, 2012, 3, 大分
- 6) ロコモティブシンドローム予防教室の効果
平安堅吾, 宮崎茂明, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 鶴田来美, 蒲原真澄, 塩満智子
第34回宮崎リハビリテーション研究会, 2012, 3, 宮崎
- 7) ロコモコール事業の取り組みについて
山下彩, 屋嘉部愛子, 宮崎茂明, 渡辺将成, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 山田栄子,
串間礼子, 和田由加子
第34回宮崎リハビリテーション研究会, 2012, 3, 宮崎
- 8) 右唇顎口蓋裂を伴った超低出生体重児の訓練報告
木本七絵, 山元唯, 笠井新一郎, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 宮崎茂明
第34回宮崎リハビリテーション研究会, 2012, 3, 宮崎

- 9) 高次脳機能障害支援の現状 —宮崎リハビリテーション講習会でのアンケート結果—
永田真哉, 中武潤, 吉村茉未, 帖佐悦男, 鳥取部光司
第34回宮崎リハビリテーション研究会, 2012, 3, 宮崎
- 10) 当院における高齢者股関節周囲不顕性骨折の検討
浪平辰州, 上通一師, 川野啓介
第34回宮崎リハビリテーション研究会, 2012, 3, 宮崎
- 11) 中学サッカー選手におけるスポーツ障害の学年別の特徴とメディカルサポート
菅原康史, 尾崎勝博, 大山史朗, 田島直也
第46回宮崎県スポーツ学会, 2012, 3, 宮崎
- 12) 宮崎県におけるトレーナー活動と人材育成について
尾崎勝博, 田島直也
第46回宮崎県スポーツ学会, 2012, 3, 宮崎
- 13) 投球障害肩術後に運動連鎖を考慮した理学療法アプローチが有効であった一症例
大山史朗, 田島直也, 井上篤, 尾崎勝博
第46回宮崎県スポーツ学会, 2012, 3, 宮崎
- 14) 柔道選手に発生した恥骨疲労骨折の1例
川添浩史, 深野木快士, 帖佐悦男
第46回宮崎県スポーツ学会, 2012, 3, 宮崎
- 15) ヘバーデン結節に合併した粘液嚢腫に対する嚢腫茎切除法の成績
高見博昭, 麻生邦一
第55回日本手外科学会学術集会, 2012, 4, 神奈川
- 16) 陳旧性小指PIP関節橈側副靭帯損傷に対する治療経験
崎濱智美, 矢野浩明, 山口志保子, 帖佐悦男
第55回日本手外科学会学術集会, 2012, 4, 神奈川
- 17) 吸音板を用いた手指関節に対する水中エコー法
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 関本朝久, 坂本武郎
第56回日本リウマチ学会総会・学術集会
第21回国際リウマチシンポジウム, 2012, 4, 東京

- 18) 寛骨臼骨折に対する Surgical approach-Modified Stoppa Approach の治療経験 -
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史
第 16 回日本救急医学会九州地方会, 2012, 5, 宮崎
- 19) 日常診療に生かすアキレス腱断裂診療ガイドライン
帖佐悦男, 伊藤博元, 阪本桂造, 高倉義典, 成田哲也, 南郷明德, 古府照男,
新井賢一郎, 木下光雄, 杉本和也, 田中康仁, 森淳, 安田稔人, 山本恵太郎
第 85 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都
- 20) 学校における運動器検診の実施 - 第 5 報 -
山本恵太郎, 帖佐悦男, 山口奈美, 河原勝博, 船元太郎, 黒木修司, 田島直也,
平川俊一, 福嶋麻里
第 85 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都
- 21) 歩行および立ち上がり動作における下腿義足の荷重分散効果の検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 小牧亘, 濱田浩朗, 坂本武郎, 河原勝博, 柳園賜一郎, 川野彰裕
第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2012, 5, 福岡
- 22) 脳性麻痺片麻痺患者の尖足変形に対するアキレス腱延長術が膝関節に及ぼす影響
— 歩行分析装置を用いた評価 —
柳園賜一郎, 川野彰裕, 鳥取部光司, 帖佐悦男
第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2012, 5, 福岡
- 23) Growing rod 法にて治療した von Recklinghausen 病による症候群性側弯症の 1 例
黒木浩史, 猪俣尚規, 濱中秀昭, 増田寛, 帖佐悦男
第 77 回西日本脊椎研究会, 2012, 6, 福岡
- 24) 当科における化膿性脊椎炎の検討
猪俣尚規, 黒木浩史, 濱中秀昭, 増田寛, 樋口誠二, 深尾悠, 大塚記史, 帖佐悦男
第 123 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2012, 福岡, 6
- 25) 非定型大腿骨骨折の治療経験
小牧ゆか, 小牧宏和, 小牧一磨, 帖佐悦男
第 123 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2012, 6, 福岡

- 26) 遺残性亜脱臼, 臼蓋形成不全に対する骨性手術の長期成績について
川野彰裕, 帖佐悦男, 長鶴義隆, 柳園賜一郎, 門内一郎, 渡邊信二, 中村嘉宏, 松岡知己
第51回日本小児股関節研究会, 2012, 6, 千葉
- 27) 当科における股関節鏡視下手術の経験
田島卓也, 山本恵太郎, 河原勝博, 山口奈美, 中村嘉宏, 池尻洋史, 坂本武郎, 帖佐悦男
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 28) 骨線維性異形成 (OFD) に対し骨欠損部を β -TCP のみで補填した3例
梅崎哲矢, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 小牧亘,
船元太郎, 日吉優, 森田雄大, 帖佐悦男
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 29) 橈骨遠位端骨折に対する掌側ロッキングプレートの治療成績
川野啓介, 浪平辰州, 河野雅充
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 30) MIS-PLIF の短期評価
久保紳一郎, 野崎正太郎, 井上篤, 野中隆史, 田島直也
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 31) 変形性膝関節症患者の脛骨骨折・脛骨骨幹部骨折術後偽関節に対し1期的に
人工膝関節置換術を施行した3例
小島岳史, 柏木輝行, 花堂祥治, 矢野良英
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 32) 大腿骨近位部骨折患者における膝関節水腫の検討
大倉俊之, 松岡知己, 福田一
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 33) 大腿神経麻痺をきたした股関節ガングリオンの1例
黒沢治, 酒井健, 内田秀穂
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 34) 当院における脛骨関節内骨折に対する人工骨を使用した治療経験
永井琢哉, 栗原典近, 市原久史, 公文崇詞, 比嘉聖
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎

- 35) 脛骨プラトー骨折に対し β -TCP を用い低侵襲手術を行った2例
長澤誠, 松元征徳, 益山松三, 坂田勝美
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 36) 脛骨プラトー骨折における人工骨の治療成績について
松岡知己, 大倉俊之, 福田一
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 37) リスフラン関節脱臼骨折の4症例
桐谷力, 安藤徹, 中村志保子, 黒木修司, 池尻洋史
第64回宮崎整形外科懇話会, 2012, 6, 宮崎
- 38) 大腿骨転子部骨折に対する 120° γ ネイルの使用経験
小島岳史, 柏木輝行
第38回日本骨折治療学会, 2012, 6, 東京
- 39) ロコモティブシンドローム予防教室の運動効果
宮崎茂明, 帖佐悦男, 河原勝博, 鳥取部光司
第24回日本運動器科学会, 2012, 7, 東京
- 40) BTB と薄筋腱を併用した ACL 2重束再建術
田島卓也, 山本恵太郎, 河原勝博, 石田康行, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男
第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2012, 7, 沖縄
- 41) 鏡視下腱板修復術後の非吸収性アンカー孔の検討
石田康行, 山本恵太郎, 田島卓也, 山口奈美, 大田智美, 帖佐悦男
第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2012, 7, 沖縄
- 42) 変形性膝関節症患者の脛骨高原骨折・脛骨骨幹部骨折術後偽関節に対し
1期的に人工関節置換術を施行した3例
小島岳史, 柏木輝行, 花堂祥治, 矢野良英
第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2012, 7, 沖縄

- 43) Distal biceps tendon reconstruction for rugby player with semitendinosus tendon autograft and Endobutton technique: A case report
LeeDC, Tajima T, Yamamoto K, Yano H, Kawahara K, Ishida Y, Yamaguchi N, Ohta T, Umezaki T, Nakamura S, Chosa E
The 11th KOREA-JAPAN Joint Meeting of Orthopedic Sports Medicine, 2012, 8, Korea
- 44) Clinical outcomes of primary and revision double-bundle ACL reconstruction with bone-patellar tendon-bone and gracilis tendon composite autografts.
Tajima T, Chosa E, Yamamoto K, Kawahara K, Yamaguchi N, Lee DC
The 11th KOREA-JAPAN Joint Meeting of Orthopedic Sports Medicine, 2012, 8, Korea
- 45) 医学生としてのスポーツ医学 ―「学生のためのスポーツ医学セミナー」を経験して―
前田雄洋, 帖佐悦男, 堀川洋平, 樋口和宏, 藤本禎明, 緒方祥吾, 山本恵太郎, 田島卓也, 山口奈美
第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2012, 9, 神奈川
- 46) 地方におけるラグビー日本代表キャンプに対するメディカルサポート体制の整備
: 2019年ラグビーワールドカップへ向けて
田島卓也, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 中村嘉宏, 吉川大輔, 山口奈美, 古谷正博, 村上秀孝, 田島直也, 井上篤
第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2012, 9, 神奈川県
- 47) 宮崎県少年野球検診, エコー検査に関する検討
長澤誠, 石田康行, 帖佐悦男
第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2012, 9, 神奈川県
- 48) ラグビー選手の上腕二頭筋腱遠位端断裂に対する自家ハムストリング腱を用いた再建術の経験
梅崎哲矢, 田島卓也, 山本恵太郎, 山口奈美, 矢野浩明, 石田康行, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男
第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2012, 9, 神奈川
- 49) Surgical options for patients with osteoarthritis of the hip in Miyazaki, Japan
Etso Chosa
International Hip Society Closed Meeting, 2012, 9, Zurich

- 50) 肩関節鏡視下術後の冷却療法に必要な製作固定バンドの検証
奥村まり子, 内田倫子, 新谷真美, 藤浦まなみ, 宮崎茂明, 石田康行, 帖佐悦男
第9回肩の運動機能研究会, 2012, 10, 東京
- 51) 当科における第四中足骨仮骨延長症例の検討
渡邊信二, 帖佐悦男
第37回日本足の外科学会・学術集会, 2012, 10, 神奈川
- 52) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨代謝疾患に関与する新規遺伝子の探索
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 山村研一, 中原舞,
荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男
第27回日本整形外科学会基礎学術集会, 2012, 10, 愛知
- 53) 可変型遺伝子トラップ法を用いた Limal/EPLIN の骨代謝における機能解析
船元太郎, 関本朝久, 黒木修司, 大田智美, 中村志保子, 山村研一, 中原舞,
荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男
第27回日本整形外科学会基礎学術集会, 2012, 10, 愛知
- 54) 思春期特発性側弯症に対する casting 療法の有効性に関する検討
黒木浩史, 猪俣尚規, 帖佐悦男, 田島直也
第46回日本側弯症学会, 2012, 10, 兵庫
- 55) 白蓋形成不全を有する麻痺性股関節脱臼・亜脱臼に対する寛骨臼球状骨切り術の長期治療成績について
川野彰裕, 帖佐悦男, 長鶴義隆, 柳園賜一郎
第29回日本脳性麻痺の外科研究会, 2012, 10, 新潟
- 56) 当科における頸椎ペディクルスクリー法の術後成績と安全性の検討
濱中秀昭, 黒木浩史, 猪俣尚規, 帖佐悦男
第21回日本脊椎インストゥルメンテーション学会, 2012, 11, 兵庫
- 57) 第2報 (H23年(第10回)本研究会演題3, 経過報告)
黒木浩史, 猪俣尚規
第11回日本乳・幼児側弯症研究会, 2012, 11, 兵庫
- 58) 運動器学校健診における運動器疾患の現状と問題点 —運動部所属有無別の比較—
山口奈美, 山本恵太郎, 河原勝博, 石田康行, 田島卓也, 帖佐悦男
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川

- 59) ラグビー選手における頸椎退行変性の予防 ー 体幹コアトレーニング導入の効果ー
田島卓也, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 河原勝博, 山口奈美
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川
- 60) 学校健診における運動器検診の普及に向けて ー 宮崎方式ー
帖佐悦男, 山本恵太郎, 山口奈美
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川
- 61) 高校空手選手に対するメディカルチェック
李徳哲, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 山口奈美
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川
- 62) アナトミカル型セメントレス・ステムのショート化が荷重伝達と初期固定性に及ぼす影響
山子剛, 帖佐悦男, Zhao Xin, 鳥取部光司, 渡邊信二, 坂本武郎, 和佐宗樹,
藤田正弘, 住谷健二
第39回日本臨床バイオメカニクス学会, 2012, 11, 千葉
- 63) 階段昇降動作における TSB 下腿義足と PTB 下腿義足の接触圧力解析
鳥取部光司, 帖佐悦男, Zhao Xin, 山子剛, 渡邊信二, DengGang,
第39回日本臨床バイオメカニクス学会, 2012, 11, 千葉
- 64) HA スティックによる椎体形成を併用した後方固定術の治療成績の検討
増田寛, 黒木浩史, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 帖佐悦男
第78回西日本脊椎研究会, 2012, 11, 福岡
- 65) 咽後膿瘍が疑われた石灰沈着性頸長筋炎の一例
森田雄大, 黒木浩史, 濱中秀昭, 猪俣尚規, 増田寛, 戚美玲, 帖佐悦男
第124回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2012, 11, 大分
- 66) 股関節軟骨腫症により著明な大腿骨頸部変形を認めた1例
小牧亘, 坂本武郎, 帖佐悦男, 関本朝久, 濱田浩朗, 渡邊信二, 池尻洋史,
中村嘉宏, 河野雅充, 田中弘之, 片岡寛章, 立山洋司
第124回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2012, 11, 大分

67) 足底部 AVM に対する治療経験

大塚記史, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗, 榮建文,
池尻洋史, 中村嘉宏, 小牧亘, 船元太郎, 梅崎哲夫, 日吉優, 李徳哲
第 1 2 4 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2011, 11, 大分

68) 幼少児側弯症に対する growing rod 法の経験

黒木浩史
第 1 2 4 回西日本整形・災害外科学会学術集会, 2012, 11, 大分

69) 国体サッカー少年男子への medical support

日吉優, 小島岳史, 樋口潤一, 原田昭彦, 宮本浩幸
第 2 5 回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2012, 12, 福岡

70) ラグビーにおける上腕筋単独断裂の 1 症例

大田智美, 田島卓也, 矢野浩明, 石田康行, 村上恵美, 山口奈美, 山口志保子,
李徳哲, 帖佐悦男
第 2 5 回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2012, 12, 福岡

71) 陸上競技中受傷した Juvenile Tillaux fracture に対し生体内吸収性螺子 (PLLA screw) にて内固定した 1 例

小島岳史, 花堂祥治, 矢野良英, 柏木輝行, 田島卓也, 帖佐悦男
第 2 5 回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2012, 12, 福岡

72) スポーツ外傷による股関節唇損傷の 3 例

大塚記史, 田島卓也, 山本恵太郎, 河原勝博, 山口奈美, 矢野浩明, 石田康行,
村上恵美, 大田智美, 中村志保子, 帖佐悦男
第 2 5 回九州・山口スポーツ医・科学研究会, 2012, 12, 福岡

73) 骨端線閉鎖前の習慣性膝蓋骨脱臼に対し内側膝蓋大腿靭帯再建術を施行した 1 例

川野彰裕, 柳園賜一郎, 門内一郎
第 6 5 回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎

74) 上肢コンパートメント症候群の治療経験

黒沢治, 内田秀穂
第 6 5 回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎

- 75) 橈骨頸部偽関節の1症例
河野勇泰喜, 樋口誠二, 牧信哉, 本荘憲昭, 稲富健司郎, 渡辺雄
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 76) 経皮的椎弓根スクリューシステムを用いた多椎間脊椎後方固定術の小経験
猪俣尚規, 黒木浩史, 濱中秀昭, 増田寛, 森田雄大, 帖佐悦男
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 77) 大腿骨転子部・転子下骨折術後骨頭壊死をきたした5例
小島岳史, 花堂祥治, 矢野良英, 柏木輝行
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 78) 大腿骨転子部骨折に対する骨接合術後に発生した大腿骨頭壊死の2例
川添浩史, 深野木快士
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 79) 大腿骨転子部骨折の手術後にカットアウトをきたした3例
河野雅充, 浪平辰州, 川野啓介
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 80) C T評価を用いた大腿骨転子部骨折の治療経験
樋口誠二, 河野勇泰喜, 牧信哉, 本荘憲昭, 稲富健司郎, 渡辺雄
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 81) 当院における両側大腿骨近位部骨折例の検討
永井琢哉, 比嘉聖, 公文崇詞, 市原久史, 栗原典近
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 82) 抗凝固薬・抗血小板薬内服患者の大腿骨頸部骨折の早期手術療法 ～休薬期間は必要か～
三橋龍馬, 福元洋一, 森治樹, 宮元修子, 李徳哲
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 83) 大腿骨近位部の透視側面像について
塩月康弘, 福島克彦
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎

- 84) 大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術後反復性脱臼となった1例
坂田勝美, 山本恵太郎, 益山松三, 長澤誠, 渡邊信二
第65回宮崎整形外科懇話会, 2012, 12, 宮崎
- 85) 脳性麻痺股関節障害に対する寛骨臼球状骨切り術の長期性成績について
川野彰裕, 帖佐悦男, 長鶴義隆, 柳園賜一郎
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟
- 86) 当科における寛骨臼後壁骨折の治療経験
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,
船元太郎, 日吉優, 梅崎哲夫
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟
- 87) Femoroacetabular impingement と鑑別疾患
日吉優, 帖佐悦男, 坂本武郎, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史,
中村嘉宏, 船元太郎, 梅崎哲夫
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟
- 88) 特発性関節唇骨化の特徴
梅崎哲夫, 中村嘉宏, 帖佐悦男, 渡邊信二, 関本朝久, 濱田浩朗, 坂本武郎,
池尻洋史, 船元太郎, 日吉優
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟
- 89) 脳性麻痺股関節障害に対する寛骨臼球状骨切り術の長期治療成績について
川野彰裕, 帖佐悦男, 渡邊信二, 中村嘉宏, 松岡知己
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟

◆ポスター

- 1) 維持透析中に発熱を主訴として発病し、関節リウマチと考えられた一例
吉川教恵, 税所幸一郎, 菅田耕, 田中一郎, 松下良介, 水間浩平, 帖佐悦男,
濱田浩朗, 築瀬一郎
第43回九州リウマチ学会, 2012, 3, 大分
- 2) 脊椎脊髄病患者の脳脊髄液中アドレノメデュリン濃度(第2報)
—神経鞘腫、髄膜腫のアドレノメデュリン産生について—
濱中秀昭, 黒木浩史, 猪俣尚規, 増田寛, 濱田浩朗, 帖佐悦男
第41回日本脊椎脊髄病学会, 2012, 4, 福岡
- 3) 宮崎県の関節リウマチ患者におけるT2T後の生物学的製剤状況
濱田浩朗, 梅北邦彦, 帖佐悦男, 岡山昭彦, 税所幸一郎, 日高利彦, 甲斐陸章,
上田章, 大平卓, 村井幸一, 松山幹太郎
第56回日本リウマチ学会総会・学術集会
第21回国際リウマチシンポジウム, 2012, 4, 東京
- 4) 人工股関節置換術におけるサポートリングの応力分散効果の検討
鳥取部光司, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 坂本武郎, 関本朝久
第56回日本リウマチ学会総会・学術集会
第21回国際リウマチシンポジウム, 2012, 4, 東京
- 5) NinJa (iR-netによる関節リウマチデータベース)を利用した関節リウマチ関連手術の分析
—2010年度について—
税所幸一郎, 當間重人, 帖佐悦男, 濱田浩朗, 吉川教恵, 菅田耕
第56回日本リウマチ学会総会・学術集会
第21回国際リウマチシンポジウム, 2012, 4, 東京
- 6) Double bundle anterior cruciate ligament reconstruction using bone-patellar tendon-bone and gracilis composite graft: Minimum 2 years follow-up
Tajima T. (Japan), Chosa E., Yamamoto K., Kawahara K., Yamaguchi N
15th ESSKA CONGRESS, 2012, 5, Switzerland

- 7) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨軟骨代謝に異常を来す疾患モデルマウスライブラリーの構築
関本朝久, 黒木修司, 船元太郎, 崎濱智美, 山口志保子, 濱田浩朗, 山村研一,
荒木喜美, 荒木正健, 帖佐悦男
第 8 5 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都
- 8) 鏡視下腱板修復術後における吸収性, 非吸収性アンカー孔の拡大
石田康行, 矢野浩明, 山本恵太郎, 河原勝博, 田島卓也, 山口奈美, 崎濱智美,
山口志保子, 帖佐悦男
第 8 5 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都
- 9) 運動器学校検診における運動部所属有無別の運動器疾患について
山口奈美, 山本恵太郎, 帖佐悦男, 田島直也, 平川俊一, 福嶋麻里
第 8 5 回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都
- 9) 地域スポーツクラブ会員におけるロコモ検診
小牧亘, 鳥取部光司, 河原勝博, 帖佐悦男, 蒲原真澄, 塩満智子, 鶴田来美
第 49 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2012, 5, 福岡
- 10) 当科での体外衝撃波治療成績について
河原勝博, 帖佐悦男, 鳥取部光司, 関本朝久, 濱田浩朗, 山本恵太郎, 小牧亘
第 4 9 回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2012, 5, 福岡
- 11) 大腿骨転子下骨折に対し LCP-DF を使用した治療経験
中村嘉宏, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 渡邊信二, 濱田浩朗, 池尻洋史,
小牧亘, 船元太郎
第 3 8 回日本骨折治療学会, 2012, 6, 東京
- 12) 診断に難渋した低悪性軟部腫瘍
—Pleomorphic hyalinizing angiectatic tumor of soft parts と考えられた 1 例—
小牧亘, 池尻洋史, 坂本武郎, 中村嘉宏, 渡邊信二, 濱田浩朗, 関本朝久,
帖佐悦男, 頼田顕辞, 片岡寛章, 畠山金太, 天野正宏, 瀬戸山充
第 4 5 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2012, 7, 東京
- 13) 可変型遺伝子トラップ法を用いた骨代謝疾患に関与する新規遺伝子の探索
黒木修司, 関本朝久, 船元太郎, 大田智美, 中村志保子, 山村研一, 荒木喜美,
荒木正健, 帖佐悦男
第 3 0 回日本骨代謝学会学術集会, 2012, 7, 東京

- 14) 膝外側円板状半月に合併した大腿骨内顆離断性骨軟骨炎の治療経験
山口奈美, 田島卓也, 石田康行, 山本恵太郎, 帖佐悦男
第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2012, 7, 沖縄
- 15) 変形性膝関節症患者の脛骨高原骨折・脛骨骨幹部骨折術後偽関節に対し
1 期的に人工膝関節置換術を施行した3例
小島岳史, 柏木輝行, 花堂祥治, 矢野良英
第4回日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会, 2012, 7, 沖縄
- 16) 膿皮症に無菌性骨髄炎を合併した1例
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎
第4回九州リウマチ学会, 2012, 9, 福岡
- 17) 当科におけるテリパラチドの使用経験
渡邊信二, 帖佐悦男, 坂本武郎, 関本朝久, 濱田浩朗, 池尻洋史, 中村嘉宏, 船元太郎
第14回日本骨粗鬆症学会骨ドック・健診文科会, 2012, 9, 新潟
- 18) 骨脆弱化がセメントレス・ステムの初期固定性に及ぼす影響
—術前・術後CT画像データに基づいた患者個別の有限要素解析—
山子剛, 中田活也, 堂前洋一郎, 尾田雅文, 原利昭, 帖佐悦男
第14回日本骨粗鬆症学会骨ドック・健診文科会, 2012, 9, 新潟
- 19) ARCRにおける持続腕神経叢ブロックは術後可動域回復に影響するか
石田康行, 帖佐悦男, 矢野浩明, 大田智美, 中村志保子
第39回日本肩関節学会, 2012, 10, 東京
- 20) 体外衝撃波を用いたアキレス腱炎の治療成績
河原勝博, 帖佐悦男, 山本恵太郎, 田島卓也, 山口奈美, 李徳哲
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川
- 21) 血液透析患者に対する人工膝関節全置換術 周術期の検討
吉川教恵, 税所幸一郎, 菅田耕, 濱田浩朗, 帖佐悦男
第40回日本関節病学会, 2012, 11, 鹿児島
- 22) 吸音板を用いたRA手指関節に対する水中エコー法の有用性
濱田浩朗, 帖佐悦男, 税所幸一郎, 坂本武郎
第40回日本関節病学会, 2012, 11, 鹿児島

23) EASY TO EVALUATE THE ACETABULAR COVERAGE OF THE HIP WITH
ANTEROPosterIOR AND FALSE PROFILE RADIOGRAPHS

Yoshihiro NAKAMURA, Etsuo CHOSA, Takero SAKAMOTO, Shinji WATANABE,
Tomohisa SEKIMOTO, Hiroaki HAMADA, Hiroshi IKEJIRI
Combined 33rd SICOT & 17th PAOA Orthopaedic World Conference, 2012, 11, Dubai

24) 白蓋形成不全症のC N V解析

関本朝久, 帖佐悦男, 船元太郎, 濱田浩朗, 坂本武郎, 渡邊信二, 池尻洋史,
中村嘉宏, 梅崎哲矢, 日吉優
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟

25) セメントレス・ステムのショート化が荷重伝達と初期固定性に及ぼす影響

山子剛, 帖佐悦男, Zhao Xin, 鳥取部光司, 渡邊信二, 坂本武郎
第39回日本股関節学会学術集会, 2012, 12, 新潟

26) MEL1/PRDM16 による骨分化制御機構の解明

兼田(中島)加珠子, 井川加織, 市川朝永, 黒木修司, 関本朝久, 帖佐悦男,
迫田澄男, 森下和広
第35回日本分子生物学会年会, 2012, 12, 福岡

◆シンポジウム

1) Femoro-acetabular impingement の概念と手術適応

坂本武郎, 帖佐悦男
第85回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都

2) 県単位におけるスポーツ医活動の現状と課題

帖佐悦男
第85回日本整形外科学会学術総会, 2012, 5, 京都

3) 宮崎で実施している学校における運動器検診について

山本恵太郎, 帖佐悦男
第24回日本運動器科学会, 2012, 7, 東京

- 4) スポーツ外傷からの復帰について
河原勝博
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 5) 病院勤務での立場から
井上篤
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 6) マッチドクターの立場から
吉川大輔
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 7) チーム帯同ドクターの立場から
小島岳史
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 8) チームドクターの立場から
黒木修司
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 9) キャンプ地でのリエゾンドクター
樋口潤一
第8回学生のためのスポーツ医学セミナー, 2012, 8, 宮崎
- 10) 宮崎県における少年野球検診の実際
石田康行, 帖佐悦男, 長澤誠
第38回日本整形外科スポーツ医学会学術集会, 2012, 9, 神奈川
- 11) ロコモとしての骨粗鬆症 一地域におけるロコモの実態と予防への取り組みー
渡邊信二, 帖佐悦男
第14回日本骨粗鬆症学会骨ドック・健診文科会, 2012, 9, 新潟

◆講 演

1) 四肢・脊椎の外傷と予防

田島直也

平成23年度受傷事故防止研修会, 2012, 1, 宮崎

2) 骨粗鬆症最近の話題とロコモティブシンドローム

帖佐悦男

人吉球磨医師会薬剤師会学術講演会, 2012, 2, 熊本

3) 障害者スポーツとリハビリテーション

鳥取部光司

第11回西諸整形外科医会教育研修会, 2012, 2, 宮崎

4) 変形性股関節手術に対する手術治療について

帖佐悦男

第16回横浜整形外科手術手技カンファレンス, 2012, 4, 神奈川

5) スポーツドクターの役割とメディカルサポート

田島卓也

第31回宮崎県臨床整形外科医学術講演会, 2012, 4, 宮崎

6) スポーツ診療における診断に際してのピットフォール

帖佐悦男

第9回奈良県整形外科研究会, 2012, 5, 奈良

7) 運動器症候群入門：ロコモと運動器不安定症の違いーリハビリテーションの関わりを含めてー

帖佐悦男

第49回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2012, 5, 福岡

8) 宮崎県の関節リウマチ患者における生物学的製剤状況

濱田浩朗

第6回トリシズマブ適正使用研究会, 2012, 6, 宮崎

9) ボツリヌス療法における治療評価 - 三次元歩行分析を中心に -

川野彰裕

日本脳性麻痺ボツリヌス療法研究会ー中国・四国地区勉強会ー, 2012, 6, 香川

- 10) 股関節疾患の画像診断と治療～最近の話題も含めて～
帖佐悦男
第11回ASOS学術講演会, 2012, 7, 滋賀
- 11) 子どもに笑顔を! 野球傷害を防ごう
帖佐悦男
第10回JCOAスポーツ医懇談会
第25回日本臨床整形外科学会学術集会・関西, 2012, 7, 兵庫
- 12) 股関節疾患の基礎－診断・バイオメカニクスを中心に－
帖佐悦男
第21回MX人工股関節研究会, 2012, 7, 熊本
- 13) スポーツ診療におけるピットホールー画像診断を中心に
帖佐悦男
第22回膝肩スポーツの会, 2012, 7, 愛知
- 14) あなたは介護を受けないと思っていないですか ～ロコモティブシンドロームを予防しよう!～
帖佐悦男
ロコモ予防講演会, 2012, 7, 宮崎
- 15) 子どもの運動の多様性の大切さ ～運動器の障害をおこさないために～
帖佐悦男
平成24年度宮崎県医師会学校医部会総会・医学会, 2012, 8, 宮崎
- 16) ロコモシンドローム
帖佐悦男
平成24年度宮崎県スポーツ推進委員協議会第1回研修会, 2012, 8, 宮崎
- 17) ロコモティブシンドロームについて
帖佐悦男
介護予防講演会, 2012, 8, 宮崎
- 18) 関節炎に対するアプローチ ～病診連携を視野に入れて～
濱田浩朗
第31回宮崎整形外科セミナー, 2012, 8, 宮崎

- 19) 宮崎県における少年野球検診
石田康行
第1回千葉薩摩スポーツフォーラム, 2012, 9, 鹿児島
- 20) ロコモ予防で健康長寿
帖佐悦男
介護予防講演会, 2012, 9, 宮崎
- 21) 骨粗鬆症最近の話題とロコモティブシンドローム
帖佐悦男
都城内科医会講演会, 2012, 9, 宮崎
- 22) 股関節疾患の画像診断 基礎とピットフォール
帖佐悦男
第21回藤が丘整形外科研修会, 2012, 10, 神奈川
- 23) 関節リウマチの関節エコー
濱田浩朗
平成24年九州地区リウマチの治療とケア研修会, 2012, 10, 宮崎
- 24) 初心者のためのスポーツ医学 ー画像診断と治療:最近の話題を含め
帖佐悦男
第23回日本臨床スポーツ医学会学術集会, 2012, 11, 神奈川
- 25) ロコモ(ロコモティブシンドローム)の予防と検診
帖佐悦男
日本整形外科勤務医会中国・四国地区山口県支部
平成24年度総会及び教育講演会, 2012, 11, 山口
- 26) 発育期と運動 ー整形外科系
帖佐悦男
第25回健康スポーツ医学講習会, 2012, 11, 東京
- 27) 宮崎県におけるロコモティブシンドロームへの取組みーリハビリテーションの関わりを含めてー
帖佐悦男
第8回筑後整形外科・リハビリテーション研究会, 2012, 11, 福岡

- 28) 整形外科医にとって必要な運動器検診「宮崎県の取り組み」ー学童期・ロコモ・スポーツ検診ー
帖佐悦男
第112回九州医師会学会 第4分科会 整形外科学会
宮崎県整形外科医会研修会 2012, 11, 宮崎
- 29) 発育発達期における小中学生の指導法
石田康行
平成24年度公益法人日本体育協会公認「指導員」養成講習会, 2012, 12, 宮崎
- 30) 傷害予防・心のケア・水分補給
帖佐悦男
平成24年度公益法人日本体育協会公認「指導員」養成講習会, 2012, 12, 宮崎
- 31) 小児整形外科治療について
柳園賜一郎
第6回はまゆう整形外科セミナー, 2012, 12, 宮崎
- 32) 整形外科医のための漢方医学（基礎）
濱田浩朗
第6回はまゆう整形外科セミナー, 2012, 12, 宮崎

編 集 後 記

今回のテーマは“幸せを感じる時”とさせていただきます。日々の勤務で疲れ切っている中、ふと自分の幸せは何なのかと考える瞬間があります。一番は幸せを感じる気持ちなのかもしれませんが、素晴らしい寄稿を頂きました。お楽しみください。

田邊龍樹先生が急逝されました。田邊先生の患者さん、同僚、スタッフに対する姿勢は日々目標とさせていただきます。寂しい限りですが、追悼の御寄稿を関係が深い3名の先生方にお願ひしました。謹んで御冥福をお祈りいたします。

新入会員紹介として賛助会員、今村卓郎先生、牧信哉先生、甲斐睦章先生、正会員、谷口昇先生、今里浩之先生、齊藤由希子先生、平川雄介先生、横江琢示先生に御入会いただき自己紹介を御寄稿していただきました。

その他、学会賞、同門会、医局行事、開業報告等があります。皆様には隅々まで目を通していただけると幸いです。

最後に何かと忙しい中、本誌に御寄稿いただいた諸先生方に深謝いたします。

平成 26 年 6 月 吉 日

渡邊 信二
石田 康行（文責）
田原 加奈子



LOXONIN



※効能・効果、用法・用量および禁忌を含む使用上の注意等
については添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)

第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

鎮痛・抗炎症・解熱剤

薬価基準収載

ロキソニン[®]

錠 60mg/細粒 10%

ロキソプロフェナトリウム水和物製剤

2014年2月作成



LOXONIN



経皮吸収型鎮痛・抗炎症剤

薬価基準収載

ロキソニン[®]
テープ 50mg
100mg

ロキソプロフェナトリウム水和物貼付剤

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
使用上の注意等については
製品添付文書をご参照ください。



製造販売元

リードケミカル株式会社
富山県富山市日俣77-3

販売元(資料請求先)



第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1

2012年11月作成

骨形成 促進剤 という選択肢。

BMD増加効果と骨折発生リスクの抑制

【禁忌(次の患者には投与しないこと)】

1. 高カルシウム血症の患者[高カルシウム血症を悪化させるおそれがある。] [重要な基本的注意]の項参照]
2. 次に掲げる骨肉腫発生のリスクが高いと考えられる患者[「その他の注意」の項参照]
 - (1) 骨へーシェット病の患者
 - (2) 原因不明のアルカリフォスファターゼ高値を示す患者
 - (3) 小児等及び若年者で骨端線が開じていない患者[「小児等への投与」の項参照]
 - (4) 過去に骨への影響が考えられる放射線治療を受けた患者
3. 原発性の悪性骨腫瘍もしくは転移性骨腫瘍のある患者[症状を悪化させるおそれがある。]
4. 骨粗鬆症以外の代謝性骨疾患の患者(副甲状腺機能亢進症等)[症状を悪化させるおそれがある。]
5. 妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦[「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照]
6. 本剤の成分又はテリパラチド酢酸塩に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】 骨折の危険性の高い骨粗鬆症

<効能・効果に関連する使用上の注意> (1)本剤の適用にあたっては、低骨密度、既存骨折、加齢、大腸憩室炎等の骨質の悪化因子を有する患者を対象とすること。(2)男性患者での安全性及び骨質改善効果は確立していない。

【用法・用量】 高齢者には1日1回テリパラチド(遺伝子組換え)として200 μ gを皮下に注射する。なお、本剤の投与は24か月間までとすること。

<用法・用量に関連する使用上の注意> (1)本剤を投与前腕の上腕を握って投与したときの安全性は確立していないので、本剤の適用にあたっては、投与前腕の上腕を守ること。[「その他の注意」及び「注意」の項参照] (2)本剤の投与を一度中断したのちに再投与する場合であっても、投与日数の合計が24か月を超えないこと。また、24か月の投与終了後、再度24か月の投与を繰り返さないこと。(3)他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えた経験はなく、その安全性は確立していない。なお、他のテリパラチド製剤から本剤に切り替えたことにおける本剤の投与前腕の上腕は格別ではない。[「その他の注意」の項参照]

【副作用の注意】 1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること) (1)腎障害のある患者(腎臓の血液濾過能力に低下し、血中の腎臓毒物である血中のテリパラチドの除去に遅延が認められている。[「薬物動態」の項参照]) (2)血中の肝臓毒物のある患者(本剤の重篤な肝臓毒物に対する使用経験が少なく安全性は確立していない。)(3)尿路結石のある患者及びその既往歴のある患者(本剤の投与により、症状を悪化させるおそれがある。)

2. 重要な基本的注意 (1)本剤の薬理作用により、投与前腕4から6時間を目安として一時的に血中カルシウム値上昇が認められる。また、血中カルシウム値は投与前腕168時間でほぼ標準値まで低下することが認められているため、本剤の投与前腕における血中カルシウム値を監視する場合は、本剤投与前腕168時間以降の測定値を標準値とすること。本剤の投与にあたっては、患者に十分な説明を行い、特に、嘔気、副痛、便秘、悪臭及び筋力低下等の状態の悪化がカルシウム上昇が繰り返される場合が認められた場合は、速やかに診察を受けるように指導すること。特異的高カルシウム血症の診断は、血中カルシウム値と測定時間を考慮し、特異的高カルシウム血症と診断された場合は、本剤の投与を中止すること。なお、血中カルシウム値上昇によりジギタリスの作用が増強することがあるため、ジギタリス系薬と併用する時は注意すること。[「相互作用」の項参照] (2)甲状腺機能亢進症は血中甲状腺素の増加作用により、新たな副甲状腺機能亢進症を示すことが報告されている。この状態の発症は、甲状腺機能亢進症の診断がなされた後、1か月以内には発生しない。 (3)腎障害のある患者においては、定期的な腎機能検査を行うこと。 (4)関節部の骨粗鬆症患者での安全性及び有効性は確立していない[Seag, K.B. et al. Arthritis Rheum. 60, 334E-335E, 2009]。 (5)冠心性虚血、めまいが認められること。 (6)相互作用 併用注意(併用に注意すること) 活性剤:タモキシフェン(カルストリオール、マキスカシロール、フレカリスチドール、エムテカルシドール等)、アルファカルシドール、ジギタリス製剤(ジゴキシン等) 4. 副作用 (1)骨のプラセボを対照とした臨床試験において、本剤10~40 μ g/日を投与した安全性評価試験28例中1例(19.8%)に副作用(臨床試験28例中副作用を認めなかった患者を除外した患者中副作用発生例)(3.6%)、悪臭7例(24.3%)、便秘7例(24.3%)、ALP上昇5例(2.0%)、尿中尿酸3例(1.2%)、悪臭増加症3例(1.2%)、血中尿酸3例(1.2%)、血中尿酸上昇3例(1.2%)であった。なお、プラセボを投与した105例中11例(10.5%)に副作用(臨床試験28例中副作用を認めなかった患者を除外した患者を除外した患者)が認められた。

注)本剤の用法・用量はテリパラチド(遺伝子組換え)として1日1回200 μ g皮下投与である。

禁忌を含む使用上の注意の改訂には十分ご留意ください。
その他の使用上の注意については製品添付文書をご参照ください。

※2013年3月改訂(第8版)



フォルテオ®
皮下注キット600 μ g
テリパラチド(遺伝子組換え)注射剤
——骨粗鬆症治療剤——

処方せん医薬品 薬価基準収載
(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

製造販売元(資料請求先)
日本イーライリリー株式会社
〒651-0086 神戸市中央区磯上通7丁目1番5号

FRT-AD01(R1)
2013.05



骨粗鬆症治療薬

フォサマック[®]錠35mg

Fosamac[®] Tablets 35mg

日本薬局方 アレンドロン酸ナトリウム錠

劇薬・処方せん医薬品：注意—医師等の処方せんにより使用すること

〈薬価基準収載〉

【効能・効果】、【用法・用量】、【用法・用量に関連する使用上の注意】、【禁忌を含む使用上の注意】は、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元【資料請求先】

MSD株式会社

〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msd.co.jp/>

2011年7月作成
FSM11AD032-0716

stryker®

Joint Replacements

Exeter Total Hip System

エクセター人工股関節システム

- 40 years of innovation
40年以上の良好な臨床成績
- Ideal of cement
セメントのためのデザイン理論
- Longevity, solution and high performance
プライマリーからリビジョンまで幅広い症例への適応

Thinking in different directions

124° - 134°

124° - 134°

医療機器承認番号 販売名

21300BZY00250000 エクセター人工股関節システム用コンポーネント

※本製品に関するお問い合わせは弊社営業までお願い致します。

日本ストライカー株式会社

112-0004 東京都文京区後楽 2-6-1 tel: 03-6894-0000

www.stryker.co.jp

医療従事者向けサイト-Stryker Medical Professional Site
www.stryker.co.jp/mp2/

製造販売業者

日本ストライカー株式会社

550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀2-1-1



抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤

薬価基準収載

レミケード®点滴静注用100

REMICADE[®] for I.V. Infusion100 (インフリキシマブ(遺伝子組換え)製剤)

生物由来製品 | 創薬 | 処方せん医薬品 (注意-医師等の処方せんにより使用すること)

※ 効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。



製造販売元(資料請求先)

田辺三菱製薬株式会社

大阪市中央区北浜2-6-18

2009年10月作成



ヒト化抗ヒト IL-6レセプターモノクローナル抗体

薬価基準収載

生物由来製品、劇薬、処方せん医薬品^{注1)}

アクテムラ[®] 点滴静注用 80 mg
200 mg
400 mg

ACTEMRA[®] *tocilizumab* トシリズマブ(遺伝子組換え)注

ヒト化抗ヒト IL-6レセプターモノクローナル抗体

薬価基準収載

生物由来製品、劇薬、処方せん医薬品^{注1)}

アクテムラ[®] 皮下注162mgシリンジ
皮下注162mgオートインジェクター

ACTEMRA[®] *tocilizumab* トシリズマブ(遺伝子組換え)注

新発売

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「警告・禁忌を含む使用上の注意」等
については、添付文書をご参照ください。

<http://www.chugai-pharm.co.jp>

製造販売元



中外製薬株式会社

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

〔資料請求先〕 医薬情報センター

TEL.0120-189706 FAX.0120-189705

Roche ロシュグループ

2013年5月作成



整形外科製品全般

脳神経外科製品全般

一般外科・病院設備全般

As a Human for Medical Care

人と医療と未来のために



TOTAL MEDICAL SUPPORT COMPANY



九州風雲堂販売株式会社

URL: <http://www.fuundo.com>

■本社	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1丁目11番31号	TEL 092-483-1881	FAX 092-483-1888
■佐賀営業所	〒849-0937	佐賀市鍋島1丁目9番1号キャロル鍋島1F	TEL 0952-34-1255	FAX 0952-34-1205
■佐世保営業所	〒857-0041	佐世保市木場田町8番7号木竹ビル3F	TEL 0956-29-0345	FAX 0956-29-0353
■長崎営業所	〒852-8153	長崎市花丘町17番10号花丘久部ビル1F	TEL 095-841-9572	FAX 095-841-9573
■大村営業所	〒856-0813	長崎県大村市西大村本町332-4	TEL 0957-48-8008	FAX 0957-48-8009
■下関営業所	〒751-0806	下関市一の宮町3丁目7番39号	TEL 083-256-5153	FAX 083-256-1317
■周南営業所	〒745-0801	山口県周南市大字久米3241番地25メソノドビル1階103号室	TEL 0834-33-8205	FAX 0834-33-8206
■広島営業所	〒733-0012	広島市西区中広町2丁目26番3号コーポ中広1F	TEL 082-297-5877	FAX 082-297-5810
■宮崎営業所	〒880-0901	宮崎市東大淀1丁目3番45号OMCビル5F	TEL 0985-52-6270	FAX 0985-52-6280
■愛媛営業所	〒790-0003	愛媛県松山市三番町7丁目7番2号	TEL 089-931-8333	FAX 089-931-8334
■大分営業所	〒870-0031	大分市大字勢家1098-269	TEL 097-574-7131	FAX 097-574-7132
■五島出張所	〒853-0007	長崎県五島市福江町6番地13平山ビル1階101号室	TEL 0959-75-0401	FAX 0959-75-0403
■日向出張所	〒883-0062	日向市大字日知屋4726番3の2コーソクビル1階D室	TEL 0982-50-3745	FAX 0982-50-3746



生物由来製品 劇薬 処方せん医薬品^{注)}

ヒト型抗ヒトTNF α モノクローナル抗体製剤 薬価基準収載

ヒュミラ[®] 皮下注40mg
シリンジ0.8mL

<皮下注射用アダリムマブ(遺伝子組換え)製剤>

HUMIRA[®]

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

製造販売(輸入)元

アッヴィ合同会社
東京都港区三田 3-5-27

販売元

エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

商品情報お問い合わせ先: エーザイ株式会社 お客様ホットライン ☎0120-419-497 9~18時(土、日、祝日 9~17時)



abbvie

HUR1302C06
2013年4月作成

慢性化しやすい痛み

変形性関節症



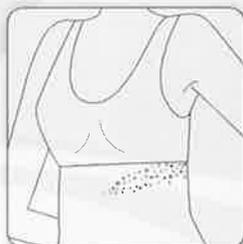
腰痛症



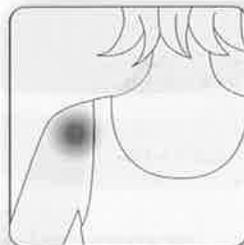
頸肩腕症候群



帯状疱疹後神経痛



肩関節周囲炎



下行性疼痛抑制系賦活型
疼痛治療剤 (非オピオイド、非シクロオキシゲナーゼ阻害)

ノイトロピン®錠4単位

ワクシニアウイルス接種家兎炎症皮膚抽出液含有製剤 〈薬価基準収載〉

【禁忌】(次の患者には投与しないこと) : 本剤に対し過敏症の既往歴のある患者

【効能・効果】

帯状疱疹後神経痛、腰痛症、頸肩腕症候群、
肩関節周囲炎、変形性関節症

【用法・用量】

通常、成人には1日4錠を朝夕2回に分けて経口
投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈用法・用量に関連する使用上の注意〉

帯状疱疹後神経痛に対しては、4週間て効果の認められ
ない場合は漫然と投薬を続けられないよう注意すること。

【使用上の注意】

1. 副作用

承認時までの調査では、1,706例中89例(5.22%)に、市
販後の副作用頻度調査(再審査終了時点)では、18,140例
中98例(0.54%)に副作用が認められている。以下の副作
用は、上記の調査及び自発報告等で認められたものである。

(1) 重大な副作用

- 1) 肝機能障害、黄疸(いずれも頻度不明) : AST(GOT)、ALT
(GPT)、 γ -GTPの上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があら
われることがあるので、観察を十分に行い、異常が認めら
れた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
- 2) 本薬の注射剤において、ショック、アナフィラキシー
があらわれたとの報告があるので、観察を十分に行い、
異常が認められた場合には、直ちに投与を中止し、適
切な処置を行うこと。

その他の使用上の注意などにつきましては、
添付文書をご参照下さい。

製造販売元

日本臓器製薬

〒541-0046 大阪市中央区平野町2丁目1番2号
資料請求先：学術部

くすりの相談窓口 ☎06-6233-6085
土・日・祝日を除く 9:00~17:00

2013年7月作成



骨粗鬆症治療剤

劇薬 処方せん医薬品[※]

薬価基準収載

ボンビバ[®] 静注 1mg シリンジ

Bonviva
ibandronate

イバンドロン酸ナトリウム水和物注

注) 注意—医師等の処方せんにより使用すること

「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」、「効能・効果に関連する使用上の注意」、「用法・用量に関連する使用上の注意」などについては添付文書をご参照ください。



発売〔資料請求先〕
大正富山医薬品株式会社
〒170-8635 東京都豊島区高田3-25-1
お問い合わせ先：お客様相談室
☎ 0120-591-818

製造販売元



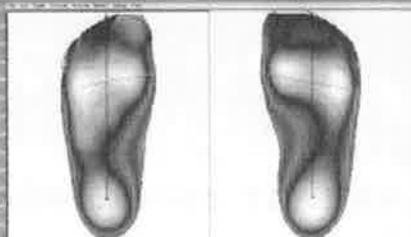
中外製薬株式会社
〒100-0324 東京都中央区日本橋室町1-1-1

Roche ロシュグループ

(資料請求先) 医薬情報センター
TEL: 0120-189706 FAX: 0120-189705

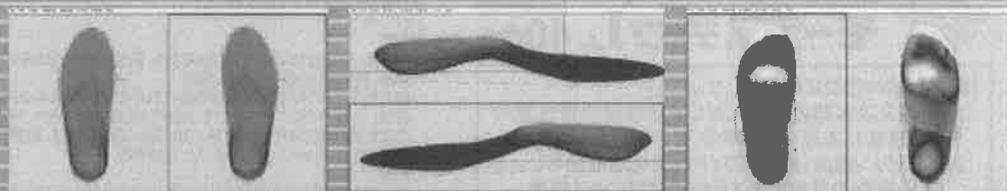
go-tec

CAD/CAM systems for P&O and FootWare

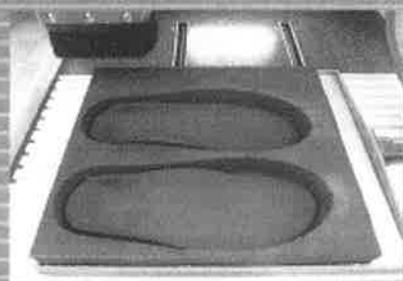
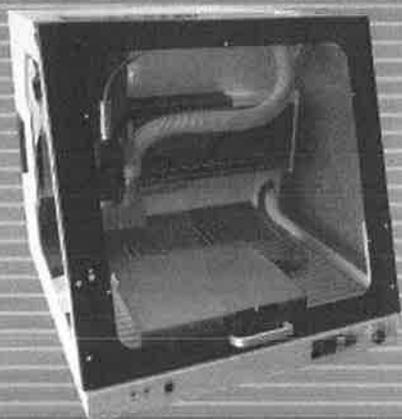


GP Laserscan 3D

Scan



Modify & Design



Finish !

義肢・装具・整形靴・座位保持・車いす・介護用品・住宅改修



(有)マキタ義肢製作所

マキタ福祉用具レンタル事業所

創意
工夫

本社：宮崎県都城市鷹尾1丁目27街区11-2号
TEL(0986)24-6598 FAX(0986)24-6630

宮崎営業所：宮崎県宮崎市清武町加納4丁目38番
TEL(0985)55-6178 FAX(0985)55-6179

効能追加

「筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛」



新たな効能追加で、さらに選択肢が広がった



経皮鎮痛消炎剤 ケトプロフェン 2% 【薬価基準収載】
モーラステープ® 20mg



経皮鎮痛消炎剤 ケトプロフェン 2% 【薬価基準収載】
モーラステープL® 40mg

【禁忌】(次の患者には使用しないこと)

- 本剤又は本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者(「重要な基本的注意」の項(1)参照)
- アスピリン喘息(非ステロイド性消炎鎮痛剤等による喘息発作の誘発)又はその既往歴のある患者
[喘息発作を誘発するおそれがある。]
- チアゾピドン、スプロフェン、フェンフィブラート並びにオキシベンゾン及びオクトクリレンを含有する製品(サンスクリーン、香水等)に対して過敏症の既往歴のある患者[これらの成分に対して過敏症の既往歴のある患者では、本剤に対しても過敏症を示すおそれがある。]
- 光線過敏症の既往歴のある患者
[光線過敏症を誘発するおそれがある。]

【効能・効果】

- 下記疾患並びに症状の鎮痛・消炎
腰痛症(筋・筋膜性腰痛症、変形性脊椎症、椎間板症、腰椎捻挫)、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顎炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
- 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛

【効能・効果に関連する使用上の注意】

- 本剤の使用により重篤な接触皮膚炎、光線過敏症が発現することがあり、中には重度の全身性発疹に進展する例が報告されているので、疾病の治療上の必要性を十分に検討の上、治療上の有益性が危険性を上回る場合にのみ使用すること。
- 損傷皮膚には本剤を使用しないこと。

【用法・用量】

1日1回患部に貼付する。

【使用上の注意】

- 慎重投与(次の患者には慎重に使用すること)
 - 気管支喘息のある患者[アスピリン喘息患者が潜在しているおそれがある。](「重大な副作用」の項②参照)
 - 妊娠後期の女性(「妊婦、産婦、授乳婦等への投与」の項参照)
- 重要な基本的注意
 - 本剤又は本剤の成分により過敏症(紅斑、発疹・発赤、腫脹、刺激感、痒痒等を含む)を発現したことのある患者には使用しないこと。
 - 接触皮膚炎又は光線過敏症を発現することがあり、中には重度の全身性発疹に至った症例も報告されているので、使用前に患者に対し次の指導を十分に行うこと。(「重大な副作用」の項③④参照)

- 紫外線曝露の有無にかかわらず、接触皮膚炎を発現することがあるので、発疹・発赤、痒痒感、刺激感等の皮膚症状が認められた場合には、直ちに使用を中止し、患部を遮光し、受診すること。なお、使用後数日を経過して発現する場合は、同様に注意すること。
- 光線過敏症を発現することがあるので、使用中は天候にかかわらず、戸外の活動を避けるとともに、日常の外出時も、本剤貼付部を衣服、サポーター等で遮光すること。なお、白い生地や薄手の服は紫外線を透過させるおそれがあるので、紫外線を透過させにくい色物の衣服などを着用すること。また、使用後数日から数カ月を経過して発現することもあるので、使用後も自分の間、同様に注意すること。異常が認められた場合には直ちに本剤の使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。
- 皮膚の感染症を不顕性化するおそれがあるので、感染を伴う炎症に対して用いる場合には適切な抗菌剤又は抗真菌剤を併用し、観察を十分に行い慎重に投与すること。
- 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顎炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
 - 本剤による治療は対症療法であるので、症状に応じて薬物療法以外の療法も考慮すること。また、投与が長期にわたる場合には患者の状態を十分に観察し、副作用の発現に留意すること。
- 関節リウマチにおける関節局所の鎮痛に本剤を使用する場合は、以下の点に注意すること。
 - 関節リウマチに対する本剤による治療は対症療法であるので、抗リウマチ薬等による適切な治療が行われ、なお関節に痛みが残る患者のみに使用すること。
 - 関節痛の状態を観察しながら使用し、長期にわたるため自然と連用しないこと。また、必要最小限の枚数にとどめること。

3.相互作用
【併用注意】(併用に注意すること)
メトキシサート

- 4.副作用**
- 腰痛症、変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顎炎、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛
総症例1,156例中副作用が報告されたのは57例(4.93%)であり、発現した副作用は、発疹11件、発赤9件、痒痒感18件、刺激感5件等の接触皮膚炎54件(4.67%)、貼付部の膨脹、動悸、顔面及び手の浮腫各1件(0.09%)などであった。(承認時)
 - 関節リウマチ
総症例525例中副作用が報告されたのは45例(8.57%)であり、発現した副作用は、接触性皮膚炎17件、適用部位痒痒感12件、適用部位紅斑6件、適用部位発疹6件、適用部位皮膚炎3件等であった。(効能追加承認時)ほかに医師などの自発的報告により、ショック、アナフィラキシー様症状、喘息発作の誘発(アスピリン喘息)、光線過敏症の発現が報告されている。

- 重大な副作用
 - ショック(頻度不明)、アナフィラキシー様症状(0.1%未満)
ショック、アナフィラキシー様症状(蕁麻疹、呼吸困難、顔面浮腫等)があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には使用を中止し、適切な処置を行うこと。
 - 喘息発作の誘発(アスピリン喘息)(0.1%未満)
喘息発作を誘発することがあるので、乾性気管支炎、呼吸困難感等の初期症状が発現した場合は使用を中止すること。気管支喘息患者の中には約10%のアスピリン喘息患者が潜在していると考えられているので留意すること。なお、本剤による喘息発作の誘発は、貼付後数時間で発現している。(「禁忌」の項(2)参照)
 - 接触皮膚炎(5%未満、重篤例は頻度不明)
本剤貼付部に発現した痒痒感、刺激感、紅斑、発疹・発赤等が悪化し、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日を経過してから発現することもある。
 - 光線過敏症(頻度不明)
本剤の貼付部を紫外線に曝露することにより強い痒痒を伴う紅斑、発疹、刺激感、腫脹、浮腫、水疱・びらん等の重度の皮膚炎症状や色素沈着、色素脱失が発現し、さらに全身に皮膚炎症状が拡大し重篤化することがあるので、異常が認められた場合には直ちに使用を中止し、患部を遮光し、適切な処置を行うこと。なお、使用後数日から数カ月を経過してから発現することもある。

●その他の使用上の注意については添付文書をご参照下さい。
●「禁忌を含む使用上の注意」の改訂に十分で留意ください。

2011年3月作成

製造販売元

久光製薬株式会社 〒841-0017 鳥栖市田代大宮町408
資料請求先：学術部 〒100-6221 東京都千代田区丸の内1-11-1



慢性疼痛/抜歯後疼痛治療剤

劇薬 処方せん医薬品*



トラムセツト[®]配合錠

Tramcet[®] Combination Tablets

トラマドール塩酸塩/アセトアミノフェン配合錠

薬価基準収載

*注意—医師等の処方せんにより使用すること

効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 (資料請求先)

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田 3-5-2

URL: <http://www.janssen.co.jp>

劇薬 処方せん医薬品^{※1}
抗リウマチ剤

薬価基準収載

ケアラム[®]錠 25mg

イグラチモド錠

注)注意—医師等の処方せんにより使用すること

製造販売元 **Eisai** エーザイ株式会社
東京都文京区小石川4-6-10

製品情報お問い合わせ先:
お客様ホットライン
フリーダイヤル0120-419-497 9~18時(土、日、祝日9~17時)

● 効能・効果、用法・用量及び警告、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

CRM1206M02

エーザイの骨粗鬆症関連製品

骨粗鬆症治療剤
日本薬局方 リセドロン酸ナトリウム錠
劇薬 処方せん医薬品 注意—医師等の処方せんにより使用すること
[薬価基準収載]

アクトネル[®]錠 75mg

骨粗鬆症治療用ビタミンK₂ 剤
メナテトレンオン製剤 [薬価基準収載]

グラケ[®]ーカプセル 15mg

体外診断用医薬品 (電気化学発光免疫測定法)
低カルボキシル化オステオカルシンキット [検体検査実施料収載]
血清中低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC) 測定用医薬品

ピコル[®] ucOC[®] ※

※ 販売提携品

● 効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については添付文書をご参照ください。

Eisai エーザイ株式会社
〒112-8088 東京都文京区小石川4-6-10

製品情報お問い合わせ先:
エーザイ株式会社 お客様ホットライン フリーダイヤル 0120-419-497 9~18時(土、日、祝日9~17時)

ACL1308M02

骨粗鬆症治療剤 薬価基準収載

ボナロン® 経口ゼリー 35mg

Bonalon® Oral Jelly 35mg <アレンドロン酸ナトリウム水和物経口ゼリー剤>
創薬・処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること)

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意
効能・効果に関連する使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元
TEIJIN 帝人ファーマ株式会社
〒100-8585 東京都千代田区霞が関3丁目2番1号
【資料請求先】学術情報部 ☎0120-189-315

特許 3702/Bonalon® is the registered trademark of Merck Sharp & Dohme Corp., a subsidiary of Merck & Co., Inc., Whitehouse Station, NJ, USA.

BNJ015-AM-1403-1
2014年3月作成

Better Health, Brighter Future ▲

骨粗鬆症治療剤

創薬・処方せん医薬品^(注) (注)注意-医師等の処方せんにより使用すること

ベネット錠 75mg

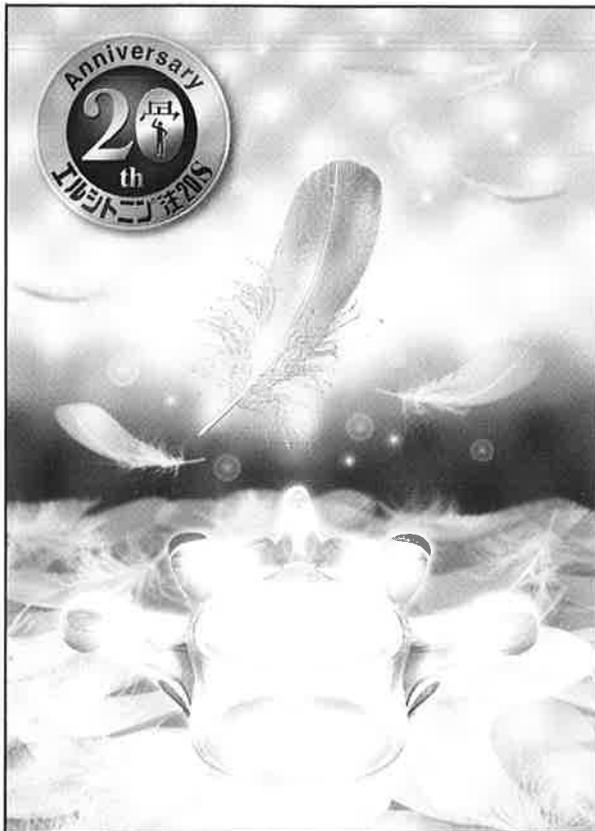
日本薬局方 リセドロン酸ナトリウム錠 薬価基準：収載

●効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

2014年1月作成

【資料請求先】
武田薬品工業株式会社
医薬営業本部 東京都中央区日本橋二丁目12番10号 〒103-8668

旭化成ファーマ



骨粗鬆症治療剤

薬価基準収載



エルシトニ[®]
注20S 注20S ディスポ

エルカトニン注射液

劇薬 処方せん医薬品*

Elticon[®] Inj. 20S Elticon[®] Inj. 20S Dispo

※注意・医師等の処方せんにより使用すること
「効能・効果」「用法・用量」「禁忌を含む使用上の注意」等、詳細については製品添付文書をご参照下さい。

製造販売元 (資料請求先)

旭化成ファーマ株式会社

医薬情報部 <すり相談窓口>

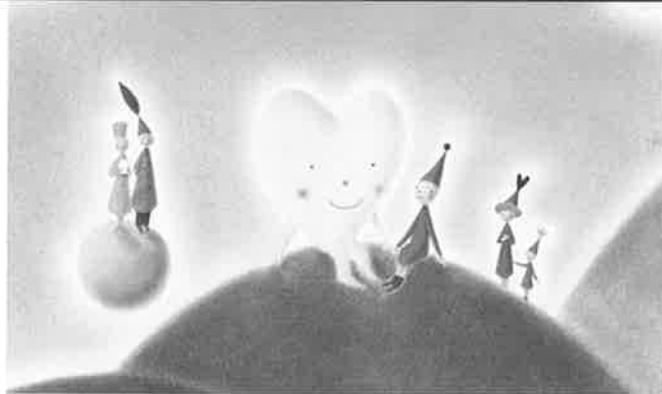
〒101-8101 東京都千代田区神田神保町一丁目105番地

TEL ☎0120-114-936 FAX 03-3296-3697

受付時間/9:00~17:45 (土日祝、休業日を除く)

[医療関係者向けホームページ] <http://www.asahikasei-pharma.co.jp>

2013.04



がん疼痛・慢性疼痛治療剤

薬価基準収載

トラマール[®]カプセル 25mg
50mg
Tramal[®] Capsules 25mg・50mg
トラマドール塩酸塩製剤

劇薬、処方せん医薬品 (注意—医師等の処方せんにより使用すること)

●「効能・効果」、「用法・用量」、「禁忌を含む使用上の注意」は、製品添付文書をご参照ください。



製造販売元

日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14



販売提携先

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

資料請求先: 製品情報センター

TRA72D008A

2013年12月作成 B5 1/2

宮崎大学医学部整形外科

同 門 会 誌

発 行 日 平成 26 年 6 月

発 行 者 宮崎大学医学部整形外科学教室同門会

編集責任者 石 田 康 行

印 刷 所 株式会社 エスアイエス